

シラバス《目 次》

倫理と人間	98	仏教学 a	160
人生と哲学	100	仏教学 b	162
日本の歴史と文化	102	禅学 a	164
信仰と生活	104	禅学 b	166
和の養生学 a	106	日本文化 a	168
和の養生学 b	108	日本文化 b	170
漢文の基礎 a	110	宗教思想 a	172
漢文の基礎 b	112	宗教思想 b	174
日本語 I a	114	仏教福祉 a	176
日本語 I b	116	仏教福祉 b	178
日本語 II a	118	禅宗経典 a	180
日本語 II b	120	禅宗経典 b	182
仏教学の基礎	122	禅宗法儀 a	184
禅宗史概論	124	禅宗法儀 b	186
禅学の基礎	126	日本事情 a	188
仏教史概論	128	日本事情 b	190
禅と人間	130	茶道 a	192
提唱・禅語録 I a / II a	132	茶道 b	194
提唱・禅語録 I b / II b	134	華道 a	196
卒業実践研究 a	136	華道 b	198
卒業実践研究 b	138	筆禅道 a	200
布教学 a	140	筆禅道 b	202
布教学 b	142	陶芸 a	204
僧侶必携 a	144	陶芸 b	206
僧侶必携 b	146		
坐禅 I a / II a	148		
坐禅 I b / II b	150		
作務 I a / II a	152		
作務 I b / II b	154		
禅の作法と心得 a	156		
禅の作法と心得 b	158		

科目名	倫理と人間			担当教員名	宇佐美 之 規	
サブタイトル	倫理観・道徳観・道徳的性情					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	火曜日・1	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・倫理という言葉についてその意味を学ぶ。
- ・倫理に関する社会的関心とその問題点について考察することができる。
- ・現代における倫理観の欠如の構造について考察し解決策を模索することができる。

【授業概要】

日常的な事柄など身近な問題を題材として、日本人の道徳観(宗教性・禅を含め)を踏まえつつ、倫理について学習し、さまざまな諸問題について、矛盾に向き合い、その解消について考える思考力を養う力を身につけます。また、日本人のアイデンティティについてもテキストを読みながら学びたいと思います。また、テーマを設定しそれぞれが考えを述べて頂き建設的な議論をします。

【質疑応答】

質問は講義中、講義終了後、オフィスアワーの時間に行います。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%・授業への取組み及び受講態度 20%・レポート 10%。また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。また、新聞をよく読んで下さい。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『倫理学ノ考究』必要な資料は、担当者の方でコピーし配布します。

参考文献：徳永圀典『日本人の誇りと自信を取り戻す33話』(コスモ21 税込み1404円)

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	倫理とは (講義)	【予習】 倫理について考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
②	倫理という語彙 (講義)	【予習】 エチケットについて考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
③	古代ギリシャ (講義)	【予習】 アリストテレスについて調べてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
④	古代ギリシャ (講義)	【予習】 ギリシャの都市国家について調べてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑤	古代ギリシャ (講義)	【予習】 ニコマコス倫理学について調べてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑥	近代西洋における倫理 (講義)	【予習】 カントについて調べてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑦	人間哲学としての問題領域 (講義)	【予習】 倫理観について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑧	日本における倫理 (講義・討論)	【予習】 道徳について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑨	日本文化における型 (講義・討論)	【予習】 日本的な礼儀や礼節について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑩	現代社会の諸問題 (講義)	【予習】 正義と偽りについて考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑪	現代社会の危機 (講義・ビデオ視聴)	【予習】 社会の諸問題について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑫	現代社会の危機 (討論)	【予習】 日本において失った精神性について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑬	現代社会の危機 (講義・ビデオ視聴)	【予習】 時代の転換期について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑭	現代社会の危機 (講義・討論)	【予習】 文化の危機について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまで扱った内容をよく整理すること (120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	人生と哲学			担当教員名	宇佐美 之 規	
サブタイトル	人生哲学					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	火曜日・1	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・哲学についての理解を深め説明することが出来る。
- ・人生哲学について自分なりに考え哲学的理解を深め発言することが出来る。
- ・現代社会における諸問題について哲学的に考察し説明することが出来る。

【授業概要】

哲学とは、自然及び社会、思考、知識の獲得に関する一般的法則を研究する科学であり、全体としての世界についての見解を示す世界観でもあり、根本的な原理について万物に共通する法則などを論理的に探究します。そこで、ギリシャ哲学から「存在とは」また、人生哲学とはどのように考えるのか、更に、善や悪とは、賛成と反対とは、正義とは等々について東洋哲学・禅ではどのように考えるのか全員参加型の対話形式の弁証法で議論をしつつ深く考え表現力を学びます。

【質疑応答】

質問は講義中、講義終了後、オフィスアワーの時間に行います。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%・授業への取組み及び受講態度 20%・レポート 10%。また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。また、新聞をよく読んで下さい。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『哲学ノ考究』必要な資料は、担当者の方でコピーし配布します。

参考文献：文献等については、講義中に適時紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	哲学のはじまり (講義)	【予習】 自分自身について考えておくこと(30)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
②	哲学の問い (講義)	【予習】 存在について考えておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
③	課題1 (課題・発表・ビデオ視聴)	【予習】 米国の銃規制、真実と偽りについて考えてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
④	古代ギリシャ哲学 (講義)	【予習】 現象界における根源について考えてみる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑤	古代ギリシャ哲学 (講義)	【予習】 古代ギリシャの哲学者について調べてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑥	古代ギリシャ哲学 (講義)	【予習】 古代ギリシャの哲学者が根源についてどのように考えたか調べてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑦	古代ギリシャ哲学 (講義)	【予習】 ソクラテスについて調べてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑧	課題2 (課題・発表・講義)	【予習】 自身の人生哲学について考えてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑨	古代ギリシャ哲学 (講義)	【予習】 プラトンについて調べてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑩	意識と対象 (講義)	【予習】 ヘーゲルについて調べてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑪	源泉 (講義)	【予習】 ヤスパーズについて調べてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑫	実存哲学 (講義)	【予習】 実存について考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑬	実存の規定 (講義)	【予習】 包括者について考えてみること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑭	存在の探究 (講義)	【予習】 限界状況について考えてみること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまで扱った内容をよく整理すること(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本の歴史と文化			担当教員名	鈴木重喜	
サブタイトル	過去から学び未来につなげる					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	月曜日・3	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな教養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していく事ができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・日本の歴史や文化に関する用語の読み方を習得し、その意味を説明できる。
- ・古代国家の形成から近代までのそれぞれの時代の流れと特徴を説明できる。
- ・各時代で生み出された文化の意義と特徴を説明できる。

【授業概要】

本講義では、日本の歴史の中で特に文化史を中心に概説し、関連史料を全員で読みながら史料にあらわされた事柄について確認し考えます。この講義を通して日本人の過去の文化や先人の考え方等について学び、現代人として日本文化に一層の理解と関心を深めるとともに、次世代へ伝えようとする精神を身に付けます。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は、定期試験(筆記試験70%程度)と授業への取り組み(10%程度)、レポート(20%程度)により行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：尾藤正英『日本文化の歴史』(岩波書店 税込み864円)

配布資料：プリントを配布します。

参考文献：教場で紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめにー日本文化の源流ー (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	古代国家の形成と日本神話 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	仏教の受容とその発展 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	漢風文化から国風文化へ (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	平安時代の仏教(講義・史料講読) *レポート提出	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	鎌倉仏教の成立 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	内乱期の文化 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	国民的宗教の成立 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	近世国家の成立と歴史思想 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	元禄文化 (講義・史料講読) *レポート提出	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	儒学の日本的展開 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	国学と洋学 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	明治維新における公論尊重の理念 (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	近代日本における西洋化と伝統文化 (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	授業のまとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	信仰と生活			担当教員名	今村敬子	
サブタイトル	生活様式の中における信仰の役割					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	月曜日・3	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな教養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していく事ができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・信仰とは何かを把握することができる。
- ・日本をはじめ世界各国のさまざまな宗教を比較理解し、その意義を説明することができる。
- ・世界各国における諸問題の根底である価値観(信念、信仰、宗教)の違いに事例をもって説明できる。

【授業概要】

本講義では日本も含めた世界各国における文化(生活様式)や信仰の相違点を様々な事例研究をすることによって比較理解し、それぞれの社会における価値基準や考え方を幅広く学ぶ。また不安定な世界情勢に対しても、グローバルな視点をもって人間の尊厳理解と平和の在り方(問題解決力)を追求し、社会に広げていく力(社会貢献力)を養うようにする。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業後に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%、授業中の取り組み(発表) 10%、授業後の課題プリント 20%程度により評価する。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『文化人類学カレッジ版第3版』医学書院

参考文献：必要な参考資料は随時コピーにて配布。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	第1章 人間と文化 A 文化人類学における文化 B 文化の諸相	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	第1章 人間と文化 C 文化人類学はどのような学問か D 現代社会と文化人類学の現在	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	第2章 文化人類学と質的研究 A 質的思考から質的研究へ	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	第2章 文化人類学と質的研究 B 文化人類学とエスノグラフィー C エスノグラフィーの現代的意義	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	第3章 個人・家族・コミュニティ A 個人と社会 B 家族	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	第3章 個人・家族・コミュニティ C 家族を超えたつながり	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	第4章 人生と通過儀礼 A 通過儀礼と境界理論 B ライフサイクルと境界理論	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	第4章 人生と通過儀礼 C 儀礼の構造 D 通過儀礼とコミュニタス E なぜ通過儀礼を経なければ	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	第5章 宗教と世界観 A 文化人類学と「宗教」 B 文化人類学と儀礼研究	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	第5章 宗教と世界観 C トランスナショナル時代における宗教と世界観	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	第6章 健康・病気・医療 A 健康と身体 B 病気と治療	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	第6章 健康・病気・医療 C 医療の体系 D 環境と健康	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	第7章 人間と死 A 人は死をどのようなものと考えたか B 人の死と死体処理	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	第7章 人間と死 C 死者儀礼 D 現代における死の問題	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ	【予習及び復習】 試験対策としてこれまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	和の養生学 a			担当教員名	野崎 康弘	
サブタイトル	自然界の摂理 陰陽学説、五行学説 を、自然界の流れ、食の組み合わせ、伝統行事を学ぶ中で考える					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	火曜日・3	1	演習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・陰陽学説、五行学説を理解し、その意味を説明できる。
- ・自然界の一日、一ヶ月、一年の変化を理解し、説明できる。
- ・日本の食の内容を陰陽五行により考察し、季節の食材について学び、その良さを説明できる。
- ・ツボの位置と効能を学び、実践できるようにする。
- ・日本の伝統的な行事の意義を理解し、その意味を説明できる。
- ・蓮の植え付け、甘茶作りの実習を通して、その方法を実践できるようにする。
- ・時節の伝統的な食べ物を味わい、その意義を説明できる。

【授業概要】

「天の気は上に位置しており、地の気は下に位置しており、天の気は下降し、地の気は上昇しますが、その天と地の気が交わる所が気交と呼ばれ、人間はとりもなおさずこの気交の中で生活しているのです。」本講義では、東洋医学の基本となる、『黄帝内経素問霊枢』の「天人相応」をベースに、参考書を読みながら、また実習することにより、毎日の健康管理に役立つ様になるのを目的とします。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業後に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(筆記試験70%程度)と授業への取り組み(10%程度)、レポート(20%程度)により行います。

【テキスト及び参考文献】

野崎康弘著『和の養生学』ナンバー1～5(1000円)

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	蓮の植え付け (実習)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(10)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(10)
②	陰陽学説、五行学説 (講義、討論、スライド)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
③	陰陽学説、五行学説 (講義、討論、スライド) 食養生、春の食材 (講義、実習)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
④	陰陽学説、五行学説、時節の行事 (講義、討論、スライド) レポート提出	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	ツボの取穴方法と効能 (講義、実習) 食養生 (講義、実習)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	調味料 (しょうゆ、味噌など) (講義、実習)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	調味料 (塩、酢、ミリン、ポン酢など) (講義、実習)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	食養生 (講義、実習)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	薬食同源 (うめ、らっきょう) (講義、実習)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	食養生 (夏の食材) (講義、実習)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	食養生 (夏の食材) (講義、実習)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	時節の行事 (講義) ツボの取穴方法と効能 (講義、実習)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	薬食同源 (ダイコンなど) (講義) 夏の食材 (講義)	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	甘茶作りの実習	【予習】 実践内容を把握する(30)
		【復習】 実践内容の確認とまとめ(30)
⑮	授業のまとめ	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(100)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	和の養生学b			担当教員名	野崎康弘	
サブタイトル	自然界の摂理 陰陽学説、五行学説 を、自然界の流れ、食の組み合わせ、伝統行事を学ぶ中で考える					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	火曜日・3	1	演習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・陰陽学説、五行学説を理解し、その意味を説明できる。
- ・自然界の一日、一ヶ月、一年の変化を理解し、説明できる。
- ・日本の食の内容を陰陽五行により考察し、季節の食材について学び、その良さを説明できる。
- ・ツボの位置と効能を学び、実践できるようにする。
- ・日本の伝統的な行事の意義を理解し、その意味を説明できる。
- ・味噌作りの実習を通して、その方法を実践できるようにする。
- ・時節の伝統的な食べ物を味わい、その意義を説明できる。

【授業概要】

「天の気は上に位置しており、地の気は下に位置しており、天の気は下降し、地の気は上昇しますが、その天と地の気が交わる所が気交と呼ばれ、人間はとりもなおさずこの気交の中で生活しているのです。」本講義では、東洋医学の基本となる、『黄帝内経素問霊枢』の「天人相応」をベースに、参考書を読みながら、また実習することにより、毎日の健康管理に役立つ様になるのを目的とします。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業後に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(筆記試験70%程度)と授業への取り組み(10%程度)、レポート(20%程度)により行います。

【テキスト及び参考文献】

野崎康弘著『和の養生学』ナンバー1～5(1000円)

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	陰陽五行学説（講義） 薬味（サンショウ、ショウガ） （講義、実習、スライド）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	陰陽五行学説（講義） 薬味（ネギ、ワサビ）（講義、実習、スライド）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
③	ツボの取穴方法と効能（講義、実習） 食養生（秋の食材）（講義、実習）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
④	薬食同源（米）（講義、実習）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	薬食同源（ゴボウ、ハクサイ）（講義）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	一年、一ヶ月の陰陽盛衰（講義、スライド）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	一日の陰陽盛衰（講義、スライド）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	薬食同源（サトイモ、柿）（講義、実習）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	薬味（シソ、カラシ、唐辛子）（講義、実習）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	薬食同源（レンコン、コンニャク） （講義、スライド）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	薬食同源（菊、オオバコ）（講義、実習）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	時節の行事（講義、スライド）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	薬食同源（マメ類）（講義、実習）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	味噌作り（講義、実習）	【予習】 実践内容を把握する(10)
		【復習】 実践内容の確認とまとめ(10)
⑮	授業のまとめ	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(100)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	漢文の基礎 a			担当教員名	横山三千穂	
サブタイトル	読んで読んで、書いて書いて実力をつけよう					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	月曜日・2	1	演習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

【到達目標】

- ・漢文、漢詩の訓読を学び（白文－訓読文－書き下し文）を通して日本文が作れること。
- ・漢詩の流れをつかみ、中国・日本の作品を読解し、鑑賞することができること。
- ・作詩の法則を学び（平仄法・押韻法・用字法）

【授業概要】

漢文、漢詩が日本に伝来し、長い歴史の中で先人の努力によって訓読法を会得した。五山文学の中で万里集九は「詩は是れ吾家の般若経、詩熟すれば即ち禅必ず熟す」と、漢詩に耽溺する。五山文学の興隆と憂慮を語っているが、「詩禅一論」に参加し、時には作詩に耽溺し先人の生き方に参加してみたい。

【質疑応答】

質問については、授業後に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

1. 積極的に授業に参加し、自身の基礎的な認識や理解を深め、身につけたかについて
2. 学習態度 20%、レポート・漢詩 30%、定期試験 50%
3. 以上の割合で 90%以上は秀、80%以上は優、70%以上は良、60%以上は可

【テキスト及び参考文献】

参考文献：『五山文学集・江戸漢詩集』（日本古典文学大系 89 岩波書店）1,000 円

テキスト：『だれにもできる漢詩の作り方』（呂山 太刀掛重雄 呂山詩書刊行会）2,000 円

※受講時には漢和辞典を持参すること。※必要な資料は担当者の方でコピーして配布する。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	中国古典文学の流れ (講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	漢文の構造と訓読 (講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	" (講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	漢詩の鑑賞 (講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	" (講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	" (講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	" (講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	漢詩の概要 種類 (講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	" 規則 (講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	漢詩作法 平仄法 (講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	" 押韻法 (講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	作詩・題「初夏緑陰」合作 (作詩)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑭	提出・添削・評価 (評価)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑮	まとめ (反省会)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	漢文の基礎b			担当教員名	横山三千穂	
サブタイトル	読んで読んで、書いて書いて実力をつけよう					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	月曜日・2	1	演習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

【到達目標】

- ・漢文、漢詩の訓読を学び（白文－訓読文－書き下し文）を通して日本文が作れること。
- ・漢詩の流れをつかみ、中国・日本の作品を読解し、鑑賞することができること。
- ・作詩の法則を学び（平仄法・押韻法・用字法）

【授業概要】

「詩志也」（詩文）「在心為志、發言為詩」（詩経）と書かれている。心は知情意の本体であり、形の無い思うこと考えることを感ずることである。この心を形のある文字で漢詩の法則に従って表現すれば一首の詩ができる。前期に学習した「漢詩作法」に従って、自分の詩を作ってほしい。①平仄法②押韻法③踏み落とし④弧平を忌むなど。

【質疑応答】

質問については、授業後に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

1. 積極的に授業に参加し、自身の基礎的な認識や理解を深め、身につけたかについて
2. 学習態度 20%、レポート・漢詩 30%、定期試験 50%
3. 以上の割合で 90%以上は秀、80%以上は優、70%以上は良、60%以上は可

【テキスト及び参考文献】

参考文献：『五山文学集・江戸漢詩集』（日本古典文学大系 89 岩波書店）1,000 円

テキスト：『だれにもできる漢詩の作り方』（呂山 太刀掛重雄 呂山詩書刊行会）2,000 円

※受講時には漢和辞典を持参すること。※必要な資料は担当者の方でコピーして配布する。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	作詩・題「初秋吟」 (作詩)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 漢詩を作る(60)
②	" 提出・添削・評価 (評価)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
③	作詩・題「中秋賞月」 (作詩)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
④	" (評価)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑤	作詩・題「看菊」 (作詩)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑥	" (評価)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑦	作詩・題「紅葉」 (作詩)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑧	" (評価)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑨	作詩・題「守歳」 (作詩)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑩	" (評価)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑪	作詩・題「新年」 (作詩)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑫	" (評価)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑬	漢詩集「伊深郷」の編集 (製本)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑭	資料集の編集 (製本)	【予習】 漢詩を作る(60)
		【復習】 授業内容の確認(30)
⑮	まとめ (反省会)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本語 I a			担当教員名	今村敬子	
サブタイトル	日本語の基礎学習					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	火曜日・3	1	演習	15	留学生必修

【DP (ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

【到達目標】

- ・日本語の基礎力を習得することができる。
- ・日本語の語彙や文法を体系的に習得できる。
- ・簡単な日本語での表現ができる。

【授業概要】

初級レベルの日本語の基礎について習得を目指す。『みんなの日本語初級1』をテキストとして、日常会話に必要な基本的文法と語彙を養う。

【質疑応答】

授業時間内およびオフィスアワーに受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%、授業への取組みおよび授業態度 20%、レポート 10%、また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなるので注意すること。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『みんなの日本語初級1』スリーエーネットワーク
必要に応じてコピーして配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	五十音	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	ひらがな・カタカナ	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	あいさつ・自己紹介	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	これ・それ・あれ	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	ここ・そこ・あそこ・あちら	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	時間・曜日・数字	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	～へ行く	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	～ます・～ましょう	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	～な・～い	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	好き嫌い	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	ある・いる	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	数え方	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	～より・～とどちら	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	～したい・～がほしい	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	試験	

【メモ】

科目名	日本語 I b			担当教員名	今村敬子	
サブタイトル	日本語の表現					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	火曜日・3	1	演習	15	留学生必修

【DP (ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

【到達目標】

- ・文法や語彙の拡充により、基礎力が向上できる。
- ・物事をより詳しく説明する表現力を習得することができる。
- ・文の構造や意味・機能を総合的に理解することができる。

【授業概要】

初級レベルの日本語の基礎について習得を目指す。『みんなの日本語初級2』をテキストとして、日常会話に必要な基本的文法と語彙を養う。

【質疑応答】

授業時間内およびオフィスアワーに受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%、授業への取組みおよび授業態度 20%、レポート 10%、また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなるので注意すること。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『みんなの日本語初級2』スリーエーネットワーク
必要に応じてコピーして配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	ください・ましょうか	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	いいですか・いけません	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	～でから・～で	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	～ないでください・なければなりません	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	ができます	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	ことがあります	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	普通体	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	と思います・といいます	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	修飾関係	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	～とき	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	あげます・もらいます・くれます	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	仮定条件・確定条件	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	会話 1	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	会話 2	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	試験	

【メモ】

科目名	日本語Ⅱa			担当教員名	宇佐美之規	
サブタイトル	会話学習					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	火曜日・3	1	演習	15	留学生必修

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

【到達目標】

- ・日本語での会話が中級程度話することができる。
- ・応用的な表現を使った会話ができるようになる。
- ・ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を理解することができるようになる。

【授業概要】

中級レベルの日本語を学びます。応用的な表現を身につけて、日本語のひらがな、カタカナ、簡単な漢字の読みと意味を習得します。

【質疑応答】

質問は講義中、講義終了後、オフィスアワーの時間に行います。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%・授業への取組み及び受講態度 20%・レポート 10%。また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『新日本語の基礎Ⅱ』（スリーエーネットワーク、2524円税抜き）

参考文献：文献等については、講義中に適時紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	第1課 話し言葉用法 (講義)	【予習】 ~んです。~んですがという表現について勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
②	第2課 可能動詞 (講義)	【予習】 まだ~ません。~は~の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
③	第3課 習慣的動作 (講義)	【予習】 ~ながら、~ています。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
④	第4課 結果の状態 (講義)	【予習】 ~が~ています。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑤	第5課 他動詞と助詞の用法 (講義・課題)	【予習】 ~ (よ) う。~予定です。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑥	第6課 助言や指示 (講義)	【予習】 ~た/ないほうがいいです。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑦	第7課 命令形・禁止形 (講義)	【予習】 ~てくれ。と言っていました。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑧	第8課 名詞+のとおり (講義)	【予習】 ~とおりに。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑨	第9課 自動詞と可能動詞 (講義)	【予習】 ~ようになりました。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑩	第10課 受身の表現 (講義・課題)	【予習】 ~は~に (ら) られます。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑪	第11課 動詞文の名詞句化 (講義)	【予習】 ~のは~です。~のが~です。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑫	第12課 形容詞の否定形 (講義)	【予習】 ~て、~くて、~で、~ので。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑬	第13課 疑問詞 (講義)	【予習】 ~かどうか、~。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑭	第14課 ひらがな、カタカナ、簡単な漢字	【予習】 ア〜行のひらがなとカタカナ及び簡単な漢字を書けるように練習しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまで扱った内容をよく整理すること (120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本語Ⅱb			担当教員名	宇佐美 之 規	
サブタイトル	会話の類似場面					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	火曜日・3	1	演習	15	留学生必修

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

【到達目標】

- ・日本語での会話が中級以上程度話することができる。
- ・より丁寧な表現を使った会話ができるようになる。
- ・ひらがな、カタカナ、漢字を理解することができるようになる。

【授業概要】

中級レベル以上の日本語を学びます。応用的な表現（丁寧な表現等々）を身につけて、日本語のひらがな、カタカナ、簡単な漢字の読みと意味を習得します。

【質疑応答】

質問は講義中、講義終了後、オフィスアワーの時間に行います。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%・授業への取組み及び受講態度 20%・レポート 10%。また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『新日本語の基礎Ⅱ』（スリーエーネットワーク、2524円税抜き）

参考文献：文献等については、講義中に適時紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	第1課 ひらがな、カタカナ、簡単な漢字	【予習】 ア～シ行を勉強してくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
②	第2課 授受 (講義・課題)	【予習】 ～くださいませ、やります。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
③	第3課 動詞の辞書形 (講義・課題)	【予習】 ～ために、～(の)に。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
④	第4課 動詞のます形 (講義・課題)	【予習】 ～そうです。～て来ます。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑤	第5課 ひらがな、カタカナ、簡単な漢字	【予習】 ス～ノ行を勉強してくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑥	第6課 形容詞+すぎます1 (講義・課題)	【予習】 ～く/にします。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑦	第7課 形容詞+すぎます2 (講義・課題)	【予習】 ～すぎました。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑧	第8課 動詞の肯定、否定形 (講義・課題)	【予習】 ～します。～にくいです。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑨	第9課 辞書形 (講義・課題)	【予習】 ～場合は、～。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑩	第10課 ひらがな、カタカナ、簡単な漢字	【予習】 ハ～ン行を勉強してくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑪	第11課 普通形+ようです (講義・課題)	【予習】 ～ようです。～そうです。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑫	第12課 使役の用法 (講義・課題)	【予習】 ～は～を～(さ)せます。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑬	第13課 尊敬 (講義・課題)	【予習】 ～(ら)れます。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑭	第14課 謙譲語 (講義・課題)	【予習】 お/ご～します。特別な謙譲動詞の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまで扱った内容をよく整理すること(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	仏教学の基礎			担当教員名	山川宗玄	
サブタイトル	現代における仏教・禅					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	通年	土曜、日曜・不定期	2	講義	15	必修

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・ 仏教の基本的概念を学習し、その意味を説明することができる。
- ・ 仏教思想を深く理解し、他の宗教にはない特徴を他者に説明することができる。
- ・ 生きる上で仏教の思想を活かすことができる。

【授業概要】

現代人が、仏教や禅を理解するための総合科目である。社会で活躍する企業家・研究者・料理家等を交えて、様々な部門特に仏教や禅との関連から現代人が生きる上で必要なものの見方、考え方を学ぶ。この授業は、公開講座(美濃加茂セミナー・正眼寺緑蔭講座)でもある。

【質疑応答】

質問等については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

レポート(70%)と授業への取り組み(30%)で単位認定をする。尚、授業回数の5分の1以上欠席をすると、定期(筆記)試験の受験資格を失う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：作成・配布する。

参考文献：(山川宗玄担当分) 禅の語録 18 無門関(筑摩書房) その他多数あり。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	4月13日(土) 谷内田孝氏	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	4月13日(土) 山川宗玄「無門関」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	5月18日(土) 山川宗玄(法話)	【予習】 資料を読み、授業内容をあらかじめ把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	5月18日(土) 森下典子氏	【予習】 資料を読み、授業内容をあらかじめ把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	5月19日(日) 山川宗玄「無門関」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	5月19日(日) 黒田英邦氏ほか	【予習】 資料を読み、授業内容をあらかじめ把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	6月22日(土) 野崎洋光氏	【予習】 資料を読み、授業内容をあらかじめ把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	6月22日(土) 山川宗玄「無門関」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	10月26日(土) 谷内田孝氏	【予習】 資料を読み、授業内容をあらかじめ把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	10月26日(土) 山川宗玄「無門関」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	11月16日(土) 横山紘一氏	【予習】 資料を読み、授業内容をあらかじめ把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	11月16日(土) 山川宗玄「無門関」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	12月14日(土) 横山紘一氏	【予習】 資料を読み、授業内容をあらかじめ把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	12月14日(土) 山川宗玄「無門関」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	1月25日(土) 山川宗玄「無門関」他	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 レポート作成のため、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	レポート提出	

【メモ】

科目名	禅宗史概論			担当教員名	池田 丈明	
サブタイトル	仏教と社会					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	火曜日・2	2	講義	15	必修

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅宗が利他主義の大乗仏教教団であることを再認識できる。
- ・日本中世の仏教観の大きな転換となった「鎌倉新仏教中心論」から「顕密体制論」への移行を理解することができる。
- ・ポスト顕密体制論を模索する広い視野を持つことができる。

【授業概要】

中国・日本にわたって禅宗の歴史を概説します。この講義では、歴史学の観点から禅宗と社会の関係、つまり禅僧や禅宗教団は社会との交渉の中でどのように思想を形成し、またどのように社会へ働きかけていったのか解説を試みます。

中国・日本の一般的な歴史を再確認し、その中に禅宗史を位置づけていく予定です。

【質疑応答】

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験（筆記試験 60%程度）と授業への取り組み（20%）と適宜提出していただく小レポート（20%）で成績を評価します。なお、授業時数の5分の1以上欠席すると、筆記試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』（臨済宗妙心寺派宗務本所、税込み 1000 円）。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに ―中国仏教の基本的性格―	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	中国仏教の成熟・繁栄 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	中国禅宗の成立 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	中国禅宗の展開 1 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	中国禅宗の展開 2 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	密教(金剛乗仏教)の成立 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	禅の日本伝来 (講義) レポート提出	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	中世前期の日本仏教 1 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	中世前期の日本仏教 2 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	中世後期社会と日本禅宗 1 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	中世後期社会と日本禅宗 2 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	中世禅僧の坐禅工夫 (講義) レポート提出	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	近世の日本仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	近代仏教(仏教の近代主義) (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ ―古典的仏教墮落論再考―	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅学の基礎			担当教員名	山川宗玄	
サブタイトル	修行のプロセス					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	水曜日・2	2	講義	15	必修

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・十牛図の総序の読み下しができ、その内容を理解することが出来る。
- ・十牛図の第一から第十までの内容を理解し、修行の過程を説明することが出来る。
- ・自己の人生との関連に於いて、十牛図の第何番目が、今現在該当するか説明が出来る。

【授業概要】

禅の基本理念を表す「十牛図」は、悟り・自性・仏心というものを牛に例え、自己の心の成長(転迷)に従い、その修證の階梯を十段階に分けて説いている。本講義に依って、本当の心の参究に加わってもらえればと思う。しかし、理念のみでは片手落ちというもので、修(坐禅の行)を通して更に参究が究明となることを期待する。授業の進度は、学生の習熟度により若干の変更あり。

【質疑応答】

質問等については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

- ・4/15開講式には出席のこと。
- ・定期試験(70%)と授業への取り組み(30%)で単位認定をする。尚、授業回数の5分の1以上欠席をすると、定期(筆記)試験の受験資格を失う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：作成・配布する

参考文献：禅の語録16『信心銘・証道歌・十牛図・坐禅儀』筑摩書房

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	「十牛図」 解題及び坐禅について (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	「十牛図」 その周辺「坐禅儀」 解説 (講義)	【予習】 「坐禅儀」 について調べる(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	正眼寺開講式参加 (講義)	【予習】 廓庵禅師と「十牛図」 について調べる(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	「十牛図」 総序 (講義)	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	「十牛図」 第一 (講義)	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	「十牛図」 第二 (講義)	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	「十牛図」 第三 (講義)	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	「十牛図」 第四 (講義)	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	「十牛図」 第五 (講義)	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	「十牛図」 第六 (講義)	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	「十牛図」 第七 (講義)	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	「十牛図」 第八 (講義)	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	「十牛図」 第九 (講義)	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	「十牛図」 第十 (講義)	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	「十牛図」 まとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	仏教史概論			担当教員名	池田 丈明	
サブタイトル	仏教と社会					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	火曜日・2	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・ 仏教の基本教説を習得し、その意味を説明することができる。
- ・ 小乗仏教と大乘仏教の明確な差異を説明することができる。
- ・ ポスト近代仏教(仏教の近代主義)を模索する広い視野を持つことができる。

【授業概要】

インド・東南アジア・東アジアにわたって仏教の歴史を概説します。この講義では、歴史学の観点から仏教と社会の関係、つまり仏僧や仏教教団は社会との交渉の中でどのように思想を形成し、またどのように社会へ働きかけていったのか解説を試みます。

インド・東南アジア・東アジアの一般的な歴史を再確認し、その中に仏教史を位置づけていく予定です。

【質疑応答】

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(筆記試験60%程度)と授業への取り組み(20%)と適宜提出していただく小レポート(20%)で成績を評価します。なお、授業時数の5分の1以上欠席すると、筆記試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』(臨済宗妙心寺派宗務本所、税込み1000円)。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに ―仏教興起以前のインド―	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	原始仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	仏教の基本教説 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	仏教の基本教説と仏教の近代主義 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	インド仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	小乗仏教と大乘仏教 (講義) レポート提出	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	東南アジアの仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	大乘仏教の菩薩思想 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	中国仏教の成熟・繁栄 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	密教(金剛乗仏教)の成立 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	日本中世の仏教 (講義) レポート提出	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	日本仏教の戒律 ―菩薩の精神の自覚― (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	日本近世の仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	近代仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ ―日本仏教の再大乘化―	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅と人間			担当教員名	山川宗玄	
サブタイトル	見性とは何か					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
2	秋	水曜日・2	2	講義	15	必修

【DP(ディプロマポリシー)】

②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・『六祖壇経』の読み下しができ、その内容を理解することが出来る。
- ・『六祖壇経』における見性について説明することが出来る。
- ・六祖の禅宗界における、革新性を理解し説明することが出来る。

【授業概要】

唐代の初め、六祖慧能大鑑禅師より禅の根本的な教えである『六祖壇経』が説かれた。禅を学ぶ者は、この原点に一度は返らねばならない。また見性という、今日臨済禅師が一番大事にしなればならぬ、宗教的体験を平易に指示、説かれたものであるから、その内容を理解し説明できる能力を身につけることを目的として取り組む。授業の進度は、学生の習熟度により若干の変更あり。

【質疑応答】

質問等については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

- ・2/1 講了式には出席のこと。
- ・定期試験（70％）と授業への取り組み（30％）で単位認定をする。尚、授業回数の5分の1以上欠席をすると、定期（筆記）試験の受験資格を失う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：作成・配布する

参考文献：『禅語録』柳田聖山著 中央公論社

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	『六祖壇経』の解題と達磨より六祖に到る 禅宗史 (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	序文 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	本文 縁起説法門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	本文 悟法伝衣門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	本文 悟法伝衣門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	本文 悟法伝衣門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	本文 悟法伝衣門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	本文 為時衆説定慧門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	本文 為時衆説定慧門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	本文 教授坐禅門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	本文 教授坐禅門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	本文 説伝吉懺悔発願門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	本文 説伝吉懺悔発願門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	本文 説一体三身仏相門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	提唱・禅語録 I a / II a			担当教員名	山川宗玄	
サブタイトル	さとの説法					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1 / 2	春	水曜日・1	2	講義	15	必修

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・禅の修行の道筋を理解する。
- ・漢文の読解力を高める。
- ・個々人の様々な問題に対して解決意思力を向上させる。

【授業概要】

提唱とは提(ひっさ)げ唱(とな)えるということで、禅の専門道場に於ける独特の講座である。それは一般的の講義・講話と異なり、道場の指導者、これを師家(しけ)というが、師家の実体験を丸出しにした説話である。修行の方向と人生全般に亘る師家の講義ともいえる。そして、修行の先達である祖師方の行履(あんり)を、その語録から学ぶ。聴講者の心の開発に与ればと思う。

尚、正眼僧堂で修行中の雲水と共の聴講となるが、その形式も含め提唱なのだ和理解してもらいたい。今年度は臨済禅の語録の代表ともいべき雪竇明覚禅師の「碧巖録」百則頌古の残りと新たに臨済慧照禅師の「臨済録」を講本とする。

【質疑応答】

質問等については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

- ・4/15 開講式には出席のこと。
- ・定期試験(70%)と授業への取り組み(30%)で単位認定をする。尚、授業回数数の5分の1以上の欠席をすると、定期(筆記)試験の受験資格を失う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：作成・配布する。

参考文献：『碧巖録』上・中・下(岩波文庫)

中村文峰著『臨済録』(大蔵出版)その他多数あり

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	提唱ガイダンス 祖師、語録の意味	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	提唱ガイダンス「碧巖録」の生まれるまで 碧巖録	【予習】 「碧巖録」の成立について調べる(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	碧巖録 第九十四則 楞巖不見の時	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	" 第九十五則 長慶二種の語	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	" 第九十六則 趙州の三転語	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	" 第九十七則 金剛経罪業消滅	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	" 第九十八則 天平の両錯	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	" 第九十九則 肅宗十身調御	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	" 第一百則 巴陵吹毛の劍	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	提唱ガイダンス「臨濟録」の生まれるまで	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	「臨濟録」 行録	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	「臨濟録」 行録	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	「臨濟録」 行録	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	「臨濟録」 行録	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	「臨濟録」 行録	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

※但し、僧堂の提唱との兼ね合いで、必ずしもこの順番通りではない。

【メモ】

科目名	提唱・禅語録 I b / II b			担当教員名	山川宗玄	
サブタイトル	さとの説法					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1 / 2	秋	水曜日・1	2	講義	15	必修

【DP (ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・禅の修行の道筋を理解する。
- ・漢文の読解力を高める。
- ・個々人の様々な問題に対して解決意思力を向上させる。

【授業概要】

提唱とは提（ひっさ）げ唱（とな）えるということで、禅の専門道場に於ける独特の講座である。それは一般的の講義・講話と異なり、道場の指導者、これを師家（しけ）というが、師家の実体験を丸出しにした説話である。修行の方向と人生全般に亘る師家の講義ともいえる。そして、修行の先達である祖師方の行履（あんり）を、その語録から学ぶ。聴講者の心の開発に与ればと思う。

尚、正眼僧堂で修行中の雲水と共の聴講となるが、その形式も含め提唱なのだとして理解してもらいたい。今年度は臨済禅の語録の代表ともいべき臨済慧照禅師の「臨済録」を講本とする。

【質疑応答】

質問等については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

- ・2/1 講了式には出席のこと。
- ・定期試験（70%）と授業への取り組み（30%）で単位認定をする。尚、授業回数の5分の1以上の欠席をすると、定期（筆記）試験の受験資格を失う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：作成・配布する。

参考文献：中村文峰著『臨済録』（大蔵出版）その他多数あり

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	提唱ガイダンス 祖師、語録の意味	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	提唱ガイダンス 「臨濟録」の生まれるまで	【予習】 「臨濟録」の成立について調べる (30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	「臨濟録」 勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	「臨濟録」 勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	「臨濟録」 勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	「臨濟録」 勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	「臨濟録」 勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	「臨濟録」 勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	「臨濟録」 示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	「臨濟録」 示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	「臨濟録」 示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	「臨濟録」 示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	「臨濟録」 示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	「臨濟録」 示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	「臨濟録」 示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

※但し、僧堂の提唱との兼ね合いで、必ずしもこの順番通りではない。

【メモ】

科目名	卒業実践研究 a			担当教員名	各指導教官	
サブタイトル	随所に主となる					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	水曜日・4	卒業実践 研究 b と合わせて 2 単位	演習	15	必修

【DP (ディプロマポリシー)】

④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・「論文研究」は、章立てを決めた上で、参考文献や資料を活用し各自の表現で論文を完成できる。
- ・「実践研究」は、実技やフィールドワーク等を行い、20 回分の実践記録等を作成できる。
- ・卒業実践研究発表会において実践論文の成果を各自の言葉で報告できる。

【授業概要】

本研究は、みなさんの興味関心のあるテーマを選定し、「論文研究」と「実践研究」のうちいずれか1つを選択します。「論文研究」は、指導教官のもとで論文を作成し、「実践研究」は、指導教官のもとでフィールドワークや作品制作などを行い、実践記録を作成しながら、実践の習得に努めるものです。1 回生の後期に研究のためのアンケートを行い、各自のテーマにより指導教官が発表されます。「論文研究」は、指導教官のもとで資料を集め、文献講読などを行い、論文の骨子、章立てを作成し、論文の執筆を行い仕上げます。「実践研究」は、指導教官のもとでテーマにそって計画的に実践を行い、フィールドワークや作品制作などを通して実践記録にまとめあげます。論文や実践記録の作成の途中で、2 回の発表会を行い、その後教務部へ研究題目の提出をします。研究の提出後は、全学合同発表会にて発表を行います(卒業実践研究 b (秋学期) から始めた学生の研究の概要等は、卒業実践研究 a (春学期) に準じます)。

【質疑応答】

指導教官の指示に従い、計画的に研究と実践を進めるようにしてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

主査・副査の評価 (40%程度) および発表の審査点 (60%程度) による総合評価とします。この演習に関わる日程等については、教務部より資料を配付します。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：

参考文献：

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	卒業実践研究について（教務部ガイダンス）	卒業実践研究の計画を立てる（120）
②	アンケートにより指導教官の発表	指導教官との話し合いをもつ（60）
③	「論文研究」「実践研究」の体裁について	研究に必要な文献・資料等を調べ、「論文研究」か「実践研究」のいずれかを選択して決める（180）
④	研究指導：文献・資料の検索	自分のテーマにそって文献・資料の検索を行う（180）
⑤	研究指導：文献・資料の検索	自分のテーマにそって文献・資料の検索を行う（180）
⑥	研究指導：文献・資料のまとめ	自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
⑦	卒論構想発表	卒論の途中経過についてデジユメを作って発表するので用意する（120）
⑧	研究指導：文献・資料のまとめ *ワードあるいは一太郎の設定の方法 *脚注の作成の方法 *図表等の作成の方法	自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
⑨	研究指導：（論）文献・資料のまとめ （実）実践の計画立案	（論）自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
		（実）実践内容・方法・日程などの計画を立てる（180）
⑩	研究指導：（論）文献・資料のまとめ （実）実践の計画立案	（論）自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
		（実）実践内容・方法・日程などの計画を立てる（180）
⑪	研究指導：（論）文献・資料のまとめ （実）実践とまとめ	（論）自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
		（実）実践を行い、実践記録の作成に必要な情報などをノートにまとめる（180）
⑫	研究指導：（論）文献・資料のまとめ （実）実践とまとめ	（論）論文のテーマにそって構成を考える（120）
		（実）実践を行い、実践記録の作成に必要な情報などをノートにまとめる（180）
⑬	研究指導：（論）文献・資料のまとめ （実）実践とまとめ	（論）論文のテーマにそって構成を考える（120）
		（実）実践を行い、実践記録の作成に必要な情報などをノートにまとめる（180）
⑭	卒論中間発表	卒論の途中経過についてデジユメを作って発表するので用意すること（120）
⑮	研究指導：（論）文献・資料のまとめ （実）実践とまとめ	（論）自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
		（実）実践を行い、実践記録の作成に必要な情報などをノートにまとめる（180）
⑯	休業中	ワードあるいは一太郎を使って、論文あるいは実践記録を実際に作成する（360）

【メモ】

科目名	卒業実践研究 b			担当教員名	各指導教官	
サブタイトル	随所に主となる					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	水曜日・4	卒業実践 研究 a と合わせて 2 単位	演習	15	必修

【DP (ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・「論文研究」は、章立てを決めた上で、参考文献や資料を活用し各自の表現で論文を完成できる。
- ・「実践研究」は、実技やフィールドワーク等を行い、20 回分の実践記録等を作成できる。
- ・卒業実践研究発表会において実践論文の成果を各自の言葉で報告できる。

【授業概要】

本研究は、卒業実践研究 a を受けて、構想により「論文研究」あるいは「実践研究」を指導教官のもとですすめ、ワードあるいは一太郎ファイルに保存したうえで、A4 用紙に印刷し、期限日までに教務部へ論文一式を提出します。その後、全学合同発表会で各自発表を行います(卒業実践研究 b (秋学期) から始めた学生の研究の概要等は、卒業実践研究 a (春学期) に準じます)。

【質疑応答】

指導教官の指示に従い、計画的に研究と実践を進めるようにしてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

主査・副査の評価 (40%程度) および発表の審査点 (60%程度) による総合評価とします。この演習に関わる日程等については、教務部より資料を配付します。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：

参考文献：

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
②	第1次提出	論文あるいは実践記録の一部を提出する(120)
③	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
④	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑤	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑥	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑦	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑧	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑨	第2次提出	論文あるいは実践記録の一部を提出する(120)
⑩	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑪	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑫	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑬	第3次提出	論文あるいは実践記録を提出する(120)
⑭	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑮	実践論文提出	最終訂正を行い、論文一式を整える(120)
⑯	卒業実践論文発表会	発表するための準備をする(120)

【メモ】

科目名	布教学 a			担当教員名	松久宗心	
サブタイトル	仏教との出会いによる目覚め・感動の共有					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	水曜日・3	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・布教学を学ぶことにより、多くの資料を基に、分かりやすく法話することができる。
- ・布教学を学ぶことにより、仏教をより広くより深く体得し、豊かな感性を育てる。
- ・布教学を学ぶことにより、自己の感動を多くの人と共有し、聴衆を安心に導く。

【授業概要】

本授業では、布教における基本的な心構えや方法を学び、仏教や禅の根本思想・教義を理解し、聴衆に的確に伝えることを基礎とし、仏教や禅の学習・体験から得た、自己の発見・感動を聴衆と共有し、聴衆の宗教的情操を豊かに涵養することを目的とする。そのために、各自の法話を学生同士の互評で切磋し、講師が講評を加える実践体験を全員参加で重ねていく。授業の進度は、学生の習熟度により変更あり。

【質疑応答】

授業内容・資料に対する質疑は、授業中随時受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は定期試験(筆記試験 40%) 授業での法話発表(40%) 授業への取り組み姿勢(20%)により行います。なお、授業時間数の5分の1以上の欠席(遅刻・早退は2回で1回の欠席)をすると失格になります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト: 毎回資料を配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	布教の心得[1]	【予習】 シラバスを読んで授業の意味を確認する(20)
		【復習】 資料を読んで内容を把握する(70)
②	布教の心得[2]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に自問自答する(30)
③	仏教の基礎—生死・涅槃 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
④	仏教の基礎—仏道 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑤	仏教の基礎—三宝 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑥	仏教の基礎—縁起 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑦	仏教の基礎—三法印 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑧	仏教の基礎—四諦 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑨	仏教の基礎—八正道 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑩	仏教の基礎—四摂法 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑪	仏教の基礎—六波羅蜜 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑫	仏教の基礎—無財の七施 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑬	仏教の基礎—四無量心 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑭	仏教の基礎—五戒 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑮	仏教の基礎—七仏通戒偈 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	布教学b			担当教員名	松久宗心	
サブタイトル	禅との出会いによる目覚め・感動の共有					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	水曜日・3	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・布教学を学ぶことにより、多くの資料を基に、分かりやすく法話することができる。
- ・布教学を学ぶことにより、禅をより広くより深く体得し、豊かな感性を育てる。
- ・布教学を学ぶことにより、自己の感動を多くの人と共有し、聴衆を安心に導く。

【授業概要】

本授業では、布教における基本的な心構えや方法を学び、仏教や禅の根本思想・教義を理解し、聴衆に的確に伝えることを基礎とし、仏教や禅の学習・体験から得た、自己の発見・感動を聴衆と共有し、聴衆の宗教的情操を豊かに涵養することを目的とする。そのために、各自の法話を学生同士の互評で切磋し、講師が講評を加える実践体験を全員参加で重ねていく。授業の進度は、学生の習熟度により変更あり。

【質疑応答】

授業内容・資料に対する質疑は、授業中随時受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は定期試験(筆記試験40%)授業での法話発表(40%)授業への取り組み姿勢(20%)により行います。なお、授業時間数の5分の1以上の欠席(遅刻・早退は2回で1回の欠席)をすると失格になります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト: 毎回資料を配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	布教の心得[1]	【予習】 シラバスを読んで授業の意味を確認する(20)
		【復習】 資料を読んで内容を把握する(70)
②	布教の心得[2]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に自問自答する(30)
③	禅の基礎—五蘊皆空 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
④	禅の基礎—宿世の善根 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑤	禅の基礎—不立文字 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑥	禅の基礎—至道無難 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑦	禅の基礎—妄想を除かず [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑧	禅の基礎—本来無一物 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑨	禅の基礎—平常心是道 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑩	禅の基礎—一日作さざれば [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑪	禅の基礎—日々是好日 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑫	禅の基礎—無事是貴人 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑬	禅の基礎—正念相続 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑭	禅の基礎—衆生無辺誓願度 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑮	禅の基礎—衆生本来仏なり [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話をする(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	僧侶必携 a			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	宗門人の基礎知識					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	月曜日・1	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・ 仏教や禅の基礎知識についての理解を深めることができる。
- ・ 仏教や禅の意義について他者に向かって表現することができる。
- ・ 仏教や禅の知識に即して寺門の運営や檀信徒の教化ができる。

【授業概要】

臨済宗妙心寺派では、寺院の住職となるために、前堂職研修会において『臨済禅ハンドブック』をテキストとして試験が行われている。宗門人としての基礎知識が網羅されており、檀信徒からの質問への答えや教化のテキストとなっている。本講義はこのテキストに沿って、仏教や禅の基礎知識を学び、宗門人としての資質を習得する目的である。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験（50%）、授業で課する課題の取り組み（50%）の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：妙心寺派宗務本所『臨済禅ハンドブック』（妙心寺派宗務本所） 1000円

配布資料：プリントを配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第二版』岩波書店 7560円

大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編 改訂版』大正大学出版会 1575円
その他講義中に適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンスと禅語の素読 (講義)	【予習】 シラバスを読む(20)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
②	第1章 宗教について① (講義)	【予習】 テキスト(p1-p2)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
③	第1章 宗教について② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p3-p4)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
④	第2章 仏教概論① (講義)	【予習】 テキスト(p5-p7)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑤	第2章 仏教概論② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p8-p11)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑥	第3章 中国禅宗史① (講義)	【予習】 テキスト(p12-p14)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑦	第3章 中国禅宗史② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p15-p17)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑧	第4章 日本禅宗史① (講義)	【予習】 テキスト(p18-p21)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑨	第4章 日本禅宗史② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p22-p28)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑩	第5章 妙心寺の歴史① (講義)	【予習】 テキスト(p29-p31)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑪	第5章 妙心寺の歴史② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p32-p35)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑫	第6章 禅の教え① (講義)	【予習】 テキスト(p36-p97)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑬	第6章 禅の教え② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p38-p40)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑭	第7章 お経(経典)に学ぶ① (講義)	【予習】 テキスト(p41-p42)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑮	第7章 お経(経典)に学ぶ② (講義と小レポート発表)	【予習および復習】 テキスト(p43-p45)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 授業の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	僧侶必携b			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	宗門人の基礎知識					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	月曜日・1	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・ 仏教や禅の基礎知識についての理解を深めることができる。
- ・ 仏教や禅の意義について他者に向かって表現することができる。
- ・ 仏教や禅の知識に即して寺門の運営や檀信徒の教化ができる。

【授業概要】

臨済宗妙心寺派では、寺院の住職となるために、前堂職研修会において『臨済禅ハンドブック』をテキストとして試験が行われている。宗門人としての基礎知識が網羅されており、檀信徒からの質問への答えや教化のテキストとなっている。本講義はこのテキストに沿って、仏教や禅の基礎知識を学び、宗門人としての資質を習得する目的である。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験（50%）、授業で課する課題の取り組み（50%）の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：妙心寺派宗務本所『臨済禅ハンドブック』（妙心寺派宗務本所） 1000円

配布資料：プリントを配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第二版』岩波書店 7560円

大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編 改訂版』大正大学出版会 1575円
その他講義中に適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンスと禅語の素読 (講義)	【予習】 シラバスを読む(20)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
②	第8章 伝統行事に学ぶ① (講義)	【予習】 テキスト(p46-p47)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
③	第8章 伝統行事に学ぶ② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p48-p49)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
④	第9章 禅の文化① (講義)	【予習】 テキスト(p50-p52)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑤	第9章 禅の文化② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p53-p54)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑥	第9章 禅の文化③ (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p55-p56)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑦	第10章 仏教用語① (講義)	【予習】 テキスト(p57-p58)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑧	第10章 仏教用語② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p58-p59)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑨	第10章 仏教用語③ (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p60)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑩	第11章 禅語に学ぶ① (講義)	【予習】 テキスト(p61-p63)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑪	第11章 禅語に学ぶ② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p64-p66)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑫	第11章 禅語に学ぶ③ (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p66-p69)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑬	人権① (講義)	【予習】 人権テキスト(p1-p2)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑭	人権② (講義と小レポート発表)	【予習】 人権テキスト(p3-p5)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑮	人権③ (講義と小レポート発表)	【予習および復習】 人権テキスト(p6-p8)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 授業の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	坐禅 I a / II a			担当教員名	青井有信・フォーマルスアタレ	
サブタイトル	日常生活に坐禅を取り入れてみましょう。					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1 / 2	春	木曜日・2	1	実習	22.5	必修

【DP (ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・よりよく生きるための手段として坐禅を習慣づけ、実践的な禅について理解を深めることができる。
- ・坐禅の方法、心構え、心の置き様を実践で身に付け経験を重ねることにより坐禅指導者として企業・団体研修等の場で活躍することができる。
- ・禅の心を理解し日本文化について、より理解を深めることができる。

【授業概要】

坐禅の実践により日常を断ち切り理屈や分別を離れ、今この瞬間を経験する。禅堂内での立居振舞や作法、礼儀を身に付ける。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は授業後に聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

授業に取り組む姿勢（30%程度）とレポートまたは筆記試験（70%程度）によって単位認定評価をします。授業時数は5分の1以上の欠席で不合格。遅刻、早退は2回で1回の欠席とします。
※7.5コマ不足分は、朝課、晩課、摂心晩課、緑蔭講座準備等の参加により補います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『臨濟宗妙心寺派 勤行聖典』（臨濟宗妙心寺派宗務本所）

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	坐禅の心構えと準備 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
②	禅堂でのマナーと心得 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
③	単への上がり方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
④	足の組み方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑤	手の組み方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑥	口と目の作法 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑦	姿勢の調べ方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑧	息の調べ方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑨	心の調べ方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑩	警策の受け方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑪	経行の仕方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑫	坐禅の終わり方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑬	椅子坐禅の坐り方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑭	実践と法話 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑮	実践と法話 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	坐禅 I b / II b			担当教員名	青井有信・フォーマルスアタレ	
サブタイトル	日常生活に坐禅を取り入れてみましょう。					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1 / 2	秋	木曜日・2	1	実習	22.5	必修

【DP (ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・よりよく生きるための手段として坐禅を習慣づけ、実践的な禅について理解を深めることができる。
- ・坐禅の方法、心構え、心の置き様を実践で身に付け経験を重ねることにより坐禅指導者として企業・団体研修等の場で活躍することができる。
- ・禅の心を理解し日本文化について、より理解を深めることができる。

【授業概要】

坐禅の実践により日常を断ち切り理屈や分別を離れ、今この瞬間を経験する。禅堂内での立居振舞や作法、礼儀を身に付ける。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は授業後に聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

授業に取り組む姿勢（30%程度）とレポートまたは筆記試験（70%程度）によって単位認定評価をします。授業時数は5分の1以上の欠席で不合格。遅刻、早退は2回で1回の欠席とします。
※7.5コマ不足分は、朝課、晩課、摂心晩課、緑蔭講座準備等の参加により補います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『臨濟宗妙心寺派 勤行聖典』（臨濟宗妙心寺派宗務本所）

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	坐禅の心構えと準備 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
②	禅堂でのマナーと心得 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
③	単への上がり方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
④	足の組み方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑤	手の組み方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑥	口と目の作法 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑦	姿勢の調べ方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑧	息の調べ方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑨	心の調べ方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑩	警策の受け方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑪	経行の仕方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑫	坐禅の終わり方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑬	椅子坐禅の坐り方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑭	実践と法話 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑮	実践と法話 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	作務 I a / II a			担当教員名	フォーマルス アタレ	
サブタイトル	動く坐禅					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1 / 2	春	木曜日・1	1	実習	22.5	必修

【DP(ディプロマポリシー)】

③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・個人に与えられた作務を最後までやり遂げることができる。
- ・作務を実行中、作務に成りきることができる。
- ・合間で作務を行っているときに他者と協調することができる。

【授業概要】

禅は行住坐臥全てが修行であると説く。日常の雑務や労働など全てを修行と考える。作務は、禅的生活の本質を持ち、坐禅止静で得たものを実生活の場に適応するものです。白隠禅師は「動中の工夫は静中の工夫に勝ること百万倍す」との語を残され、体を動かしながら心はひたすらに禅の探求に向けなければならない。この授業では、行ずることによって自己の内面に気づき生き活きと表現できることを目的とし学ぶものです。なお行事や天候等の都合により内容が変更することがあります。

【質疑応答】

理解できない内容については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

正眼緑蔭講座負担(7.5コマ分)に必ず参加すること。(欠席するとコマ数が足りなくなります。)授業へ取り組む姿勢(50%)と筆記試験(50%)によって単位を認定評価します。授業時数の5分の1の欠席で不合格。遅刻、早退は、2回で1回の欠席となります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：適時指示

参考文献：『雲水日記－絵で見る禅の修行生活』佐藤義英 禅文化研究所 廉価版 1620 円

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	講義（作務の意義・進めかた等の説明）	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	学内清掃・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
③	畑（園頭）作務、耕作、種まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
④	学内清掃・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑤	剪定・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑥	梅干し作り	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑦	学内清掃・内掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑧	畑（園頭）作務、耕作、水まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑨	籾作り	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑩	学内清掃・溝掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑪	畑（園頭）作務、耕作、水まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑫	畑（園頭）作務、耕作、水まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑬	竹細工	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑭	学内清掃・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑮	学内清掃・内掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	作務 I b / II b			担当教員名	フォーマルス アタレ	
サブタイトル	動く坐禅					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1 / 2	秋	木曜日・1	1	実習	22.5	必修

【DP(ディプロマポリシー)】

③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・個人に与えられた作務を最後までやり遂げることができる。
- ・作務を実行中、作務に成りきることができる。
- ・合同で作務を行っているときに他者と協調することができる。

【授業概要】

禅は行住坐臥全てが修行であると説く。日常の雑務や労働など全てを修行と考える。作務は、禅的生活の本質を持ち、坐禅止静で得たものを実生活の場に適応するものです。白隠禅師は「動中の工夫は静中の工夫に勝ること百千万倍す」との語を残され、体を動かしながら心はひたすらに禅の探求に向けなければならない。この授業では、行ずることによって自己の内面に気づき生き活きと表現できることを目的とし学ぶものです。なお行事や天候等の都合により内容が変更することがあります。

【質疑応答】

理解できない内容については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

正眼緑蔭講座負担(7.5コマ分)に必ず参加すること。(欠席するとコマ数が足りなくなります。)授業へ取り組む姿勢(50%)と筆記試験(50%)によって単位を認定評価します。授業時数の5分の1の欠席で不合格。遅刻、早退は、2回で1回の欠席となります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：適時指示

参考文献：『雲水日記－絵で見る禅の修行生活』佐藤義英 禅文化研究所 廉価版 1620 円

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	講義（作務の意義・進めかた等の説明）	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	学内清掃・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
③	畑（園頭）作務、耕作、種まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
④	学内清掃・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑤	剪定・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑥	わらじ作り	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑦	学内清掃・内掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑧	畑（園頭）作務、耕作、水まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑨	籾作り	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑩	学内清掃・溝掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑪	畑（園頭）作務、耕作、水まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑫	畑（園頭）作務、耕作、水まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑬	沢庵漬け	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑭	学内清掃・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑮	学内清掃・内掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅の作法と心得 a			担当教員名	フォーマルス アタレ	
サブタイトル	禅の実践					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	月曜日・1	1	実習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅の修行における作法を習得して実践することができる
- ・禅の作法を実践しながら、他と強調して行動することができる。
- ・禅の心得を理解し、自分の人生や生活に応用することができる。

【授業概要】

禅の修行は長い歴史の中で、修行道場で培われた。本学では、禅の基本と建学の精神「行学一体」を学生生活の中に取り入れ、僧堂入門や僧侶育成を見据えて学生生活表やカリキュラムを組んでいる。本授業では、合掌などの基本作法、経や回向の読誦、食事作法などの実習を中心に学ぶものである。僧侶の道を目指さない学生であっても、禅の作法を習得してその心得を理解しこれからの人生に生かして頂きたい。

【質疑応答】

理解できない内容については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

経典暗唱試験（般若心経、大悲咒、消災咒、開甘露門、飯台座経）50%、持鉢展鉢試験 20%、授業取り組み 30%で単位を認定する。なお、授業時数の5分の1以上欠席(遅刻・早退は2回で1回の欠席)すると試験受験資格を失格する。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：禅語および禅の用語をプリントして配布する。

参考文献：『江湖法式梵唄抄』監修 加藤隆芳・水野泰嶺・森弘宗 編集 法式梵唄刊行会
禅文化研究所刊 16,000円
『臨濟宗納観』伊藤古鑑 其中堂刊 3,500円

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	オリエンテーション a : 合掌、叉手、拝作法 (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	禅の作法 a : 低頭、問訊、坐禅堂内作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
③	食事作法 a : 持鉢作法、食事作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
④	飯台看法 a (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑤	経典読誦作法 a : 声の出し方 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑥	経典読誦作法 a : 維那作法、回向作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑦	茶礼作法 a : 供茶、総茶礼作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑧	禅宗鳴らし物作法 a : 支度と出頭 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑨	拝敷作法 a : 拝敷、座具展開作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑩	法鼓作法 a : 法鼓出頭の打ち方 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑪	経典読誦作法 a : 大悲咒平拳、楞嚴咒 1 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑫	経典読誦作法 a : 大悲咒平拳、楞嚴咒 2 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑬	特為茶作法 a : 縁高、天目台作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑭	衣畳作法 a : 着物・衣のたたみ方 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑮	施餓鬼作法 a : 水向け作法、焼香作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅の作法と心得b			担当教員名	フォルムス アタレ	
サブタイトル	禅の実践					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	月曜日・1	1	実習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅の修行における作法を習得して実践することができる
- ・禅の作法を実践しながら、他と強調して行動することができる。
- ・禅の心得を理解し、自分の人生や生活に応用することができる。

【授業概要】

禅の修行は長い歴史の中で、修行道場で培われた。本学では、禅の基本と建学の精神「行学一体」を学生生活の中に取り入れ、僧堂入門や僧侶育成を見据えて学生生活表やカリキュラムを組んでいる。本授業では、合掌などの基本作法、経や回向の読誦、食事作法などの実習を中心に学ぶものである。僧侶の道を目指さない学生であっても、禅の作法を習得してその心得を理解しこれからの人生に生かして頂きたい。

【質疑応答】

理解できない内容については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

経典暗唱試験（般若心経、大悲咒、消災咒、開甘露門、飯台座経）50%、持鉢展鉢試験 20%、授業取り組み 30%で単位を認定する。なお、授業時数の5分の1以上欠席(遅刻・早退は2回で1回の欠席)すると試験受験資格を失格する。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：禅語および禅の用語をプリントして配布する。

参考文献：『江湖法式梵唄抄』監修 加藤隆芳・水野泰嶺・森弘宗 編集 法式梵唄刊行会
禅文化研究所刊 16,000円
『臨濟宗納観』伊藤古鑑 其中堂刊 3,500円

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	オリエンテーションb：合掌、叉手、拝作法 (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	禅の作法b：低頭、問訊、坐禅堂内作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
③	食事作法b：持鉢作法、食事作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
④	飯台看法b (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑤	経典読誦作法b：声の出し方 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑥	経典読誦作法b：維那作法、回向作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑦	茶礼作法b：供茶、総茶礼作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑧	禅宗鳴らし物作法b：支度と出頭 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑨	拝敷作法b：拝敷、座具展開作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑩	法鼓作法b：法鼓出頭の打ち方 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑪	経典読誦作法b：大悲咒平拳、楞嚴咒1 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑫	経典読誦作法b：大悲咒平拳、楞嚴咒2 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑬	特為茶作法b：縁高、天目台作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑭	衣畳作法b：着物・衣のたたみ方 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑮	施餓鬼作法b：水向け作法、焼香作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	仏教学 a			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	最古の仏教経典を理解しよう					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	金曜日・1	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・インド初期仏教や基本的な仏教思想の形成の流れと特徴を説明できる。
- ・基本的な仏教思想と禅宗の教義の共通点を説明できる。
- ・平易な言葉で仏教思想を説明し、実践に生かしていけるように考察できる。

【授業概要】

本授業では、仏教最古の経典のひとつである、『真理のことば』を扱う。これは、『ダンマパダ』(法句経)とよばれ、仏陀存世時代の思想を色濃く残し、仏教の原点回帰を目指す禅宗の教義と共通点もある。この書物の読解を通し、初期仏教と禅宗の思想の解明にあたりたい。授業の進度は学生の習熟度により若干の変更あり。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(50%)、授業で課する課題の取り組み(50%)の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：中村元『ブッダの真理のことば 感興のことば』(岩波文庫) 1220円

配布資料：プリント配布します。

参考文献：片山一良『ダンマパダ全詩解説 仏祖の学ぶひとすじの道』(大蔵出版) 9720円

他、授業中に適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	真理のことは (ダンマパダ) とはなにか (講義)	【予習】 シラバスを読む (20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
②	ダンマパダ読解 第1章 ひと組ずつ (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p10-p13) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
③	ダンマパダ読解 第2章 はげみ (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p13-p14) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
④	ダンマパダ読解 第3章 心 (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p15-p16) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑤	ダンマパダ読解 第4章 花にちなんで (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p16-p18) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑥	ダンマパダ読解 第5章 愚かな人 (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p18-p21) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑦	ダンマパダ読解 第6章 賢い人 (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p21-p22) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑧	ダンマパダ読解 第7章 真人 (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p23-p24) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑨	ダンマパダ読解 第8章 千という数にちなんで (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p24-p26) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑩	ダンマパダ読解 第9章 悪 (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p26-p28) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑪	ダンマパダ読解 第10章 暴力 (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p28-p30) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑫	ダンマパダ読解 第11章 老いること (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p30-p32) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑬	ダンマパダ読解 第12章 自己 (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p32-p33) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑭	ダンマパダ読解 第13章 世の中 (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p33-p35) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑮	ダンマパダ読解 第14章 ブッダ まとめ (講義・史料購読)	【予習】 テキスト (p35-p37) と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	仏教学b			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	最古の仏教経典を理解しよう					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	金曜日・1	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・インド初期仏教や基本的な仏教思想の形成の流れと特徴を説明できる。
- ・基本的な仏教思想と禅宗の教義の共通点を説明できる。
- ・平易な言葉で仏教思想を説明し、実践に生かしていけるように考察できる。

【授業概要】

本授業では、仏教最古の経典のひとつである、『真理のことば』を扱う。これは、『ダンマパダ』(法句経)とよばれ、仏陀存世時代の思想を色濃く残し、仏教の原点回帰を目指す禅宗の教義と共通点もある。この書物の読解を通し、初期仏教と禅宗の思想の解明にあたりたい。授業の進度は学生の習熟度により若干の変更あり。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(50%)、授業で課する課題の取り組み(50%)の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：中村元『ブッダの真理のことば 感興のことば』(岩波文庫) 1220円
 中村元『ブッダ最後の旅 大パリニッバーナ経』(岩波文庫) 1060円

配布資料：プリント配布します。

参考文献：片山一良『ダンマパダ全詩解説 仏祖の学ぶひとすじの道』(大蔵出版) 9720円
 他、授業中に適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	真理のことは（ダンマパダ）とはなにか （講義・ビデオ視聴）	【予習】 シラバスを読む(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	ダンマパダ読解 第15章 楽しみ（講義・史料購読）	【予習】 テキスト(p37-p39)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
③	ダンマパダ読解 第16章 愛するもの（講義・史料購読）	【予習】 テキスト(p39-p41)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
④	ダンマパダ読解 第17章 怒り（講義・史料購読）	【予習】 テキスト(p41-p43)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	ダンマパダ読解 第18章 汚れ（講義・史料購読）	【予習】 テキスト(p43-p45)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	ダンマパダ読解 第19章 道を実践する人（講義・史料購読）	【予習】 テキスト(p46-p48)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	ダンマパダ読解 第20章 道（講義・史料購読）	【予習】 テキスト(p48-p50)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	ダンマパダ読解 第21章 さまざまなこと（講義・史料購読）	【予習】 テキスト(p50-p52)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	ダンマパダ読解 第22章 地獄（講義・史料購読）	【予習】 テキスト(p52-p54)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	ダンマパダ読解 第23章 象（講義・史料購読）	【予習】 テキスト(p55-p57)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	ダンマパダ読解 第24章 愛執（講義・史料購読）	【予習】 テキスト(p57-p60)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	ダンマパダ読解 第25章 修行僧（講義・史料購読）	【予習】 テキスト(p60-p63)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	ダンマパダ読解 第26章 バラモン（講義・史料購読）	【予習】 テキスト(p64-p69)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	ブッダ最後の旅について① （講義・ビデオ視聴）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑮	ブッダ最後の旅について② （講義・ビデオ視聴）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅学 a			担当教員名	池田 丈明	
サブタイトル	一休宗純と中世後期社会					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	木曜日・3	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・自ら問題を発見できる。
- ・文献解読により問題解決できる。
- ・議論の方法を身につけることができる。

【授業概要】

禅宗教義を考えていくために、室町期を生きた禅僧一休宗純に注目し、その履歴を弟子たちが年代順に編纂した『東海一休和尚年譜』を輪読します。担当者はその内容要約を行うとともに問題を提起し、報告内容について全員で議論します。

本科目は、黒田俊雄氏提唱の「顕密体制論」以降、課題として残されている中世仏教のあり方、とくに禅と顕密の関係を考察することにも、きつとつながっていくはずです。

【質疑応答】

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(筆記試験40%程度)と報告内容(30%)、議論への参加(30%)で成績を評価します。なお、授業時数の5分の1以上欠席すると、筆記試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『東海一休和尚年譜』(平野宗浄「一休和尚年譜の研究」(『禅文化研究所紀要』七、1975年))。

同書は真珠庵蔵本(真珠庵二十四世南山宗寿直筆写本)を底本としたものです。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	『東海一休和尚年譜』 応永元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	『東海一休和尚年譜』 応永十二年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	『東海一休和尚年譜』 応永十七年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	『東海一休和尚年譜』 応永十九年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	『東海一休和尚年譜』 応永二十二年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	『東海一休和尚年譜』 応永二十三年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	『東海一休和尚年譜』 応永二十五年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	『東海一休和尚年譜』 応永二十七年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	『東海一休和尚年譜』 応永二十九年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	『東海一休和尚年譜』 応永三十年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	『東海一休和尚年譜』 応永三十四年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	『東海一休和尚年譜』 正長元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	『東海一休和尚年譜』 永享四年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅学b			担当教員名	池田丈明	
サブタイトル	一休宗純と中世後期社会					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	木曜日・3	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・自ら問題を発見できる。
- ・文献解読により問題解決できる。
- ・議論の方法を身につけることができる。

【授業概要】

禅宗教義を考えていくために、室町期を生きた禅僧一休宗純に注目し、その履歴を弟子たちが年代順に編纂した『東海一休和尚年譜』を輪読します。担当者はその内容要約を行うとともに問題を提起し、報告内容について全員で議論します。

本科目は、黒田俊雄氏提唱の「顕密体制論」以降、課題として残されている中世仏教のあり方、とくに禅と顕密の関係を考察することにも、きつとつながっていくはずです。

【質疑応答】

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(筆記試験40%程度)と報告内容(30%)、議論への参加(30%)で成績を評価します。なお、授業時数の5分の1以上欠席すると、筆記試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『東海一休和尚年譜』(平野宗浄「一休和尚年譜の研究」(『禅文化研究所紀要』七、1975年))。

同書は真珠庵蔵本(真珠庵二十四世南山宗寿直筆写本)を底本としたものです。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	『東海一休和尚年譜』永享八年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	『東海一休和尚年譜』嘉吉元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	『東海一休和尚年譜』文安元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	『東海一休和尚年譜』文安四年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	『東海一休和尚年譜』宝徳三年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	『東海一休和尚年譜』享徳三年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	『東海一休和尚年譜』長禄元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	『東海一休和尚年譜』長禄三年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	『東海一休和尚年譜』寛正元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	『東海一休和尚年譜』寛正二年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	『東海一休和尚年譜』応仁元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	『東海一休和尚年譜』文明六年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	『東海一休和尚年譜』文明十年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本文化 a			担当教員名	鈴木重喜	
サブタイトル	元禄時代の武士の生活からみる江戸文化					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	金曜日・3	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・古文を読むことができる。
- ・古文を解釈することができる。
- ・江戸時代の社会や文化についての認識や理解を深めることができる。

【授業概要】

本授業では、朝日文左衛門重章の日記『鸚鵡籠中記』を講読します。重章は、尾張藩城代組の100石取りの武士で、貞享元年(1684)から享保2年(1717)まで34年間に渡る日記筆録を残しています。この講読を透して、現代人の生活文化の起点である元禄時代を考えます。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。あわせて秋学期開講の「日本文化b」も履修すると、より理解がしやすくなります。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

筆記試験による成績が評価の基本であり、受講生の授業への取り組みも平常点として加味します。その割合は筆記試験70%程度、授業への取り組み30%程度とします。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：プリントを配布します。受講生は、史料講読に必要な漢和辞典、国語辞典を持参してください。

参考書：神坂次郎『元禄御畳奉行の日記 尾張藩士の見た浮世』（中央公論社 1984）

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	江戸時代の文章を読む① (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	江戸時代の文章を読む② (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	尾張藩と城代組番士朝日重章 (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	元禄5年壬申の日記 (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本文化 b			担当教員名	鈴木重喜	
サブタイトル	元禄時代の武士の生活からみる江戸文化					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	金曜日・3	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・古文を読むことができる。
- ・古文を解釈することができる。
- ・江戸時代の社会や文化についての認識や理解を深めることができる。

【授業概要】

本授業では、朝日文左衛門重章の日記『鸚鵡籠中記』を講読します。重章は、尾張藩城代組の100石取りの武士で、貞享元年(1684)から享保2年(1717)まで34年間に渡る日記筆録を残しています。この講読を透して、現代人の生活文化の起点である元禄時代を考えます。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。あわせて秋学期開講の「日本文化 a」も履修すると、より理解がしやすくなります。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

筆記試験による成績が評価の基本であり、受講生の授業への取り組みも平常点として加味します。その割合は筆記試験70%程度、授業への取り組み30%程度とします。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：プリントを配布します。受講生は、史料講読に必要な漢和辞典、国語辞典を持参してください。
参考書：神坂次郎『元禄御畳奉行の日記 尾張藩士の見た浮世』（中央公論社 1984）

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	江戸時代の文章を読む① (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	江戸時代の文章を読む② (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	尾張藩と城代組番士朝日重章 (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	元禄5年壬申の日記 (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	元禄6年癸酉の日記 (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	宗教思想 a			担当教員名	宇佐美 之 規	
サブタイトル	自力聖道門と他力浄土門					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	火曜日・2	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・自力と他力について学ぶ。
- ・禅と浄土の思想について学習しその相違点と類似性について考察する。
- ・仏教思想の教義の多様性について理解することができる。

【授業概要】

宗教思想の中の仏教には、さまざまな教えが展開されている。その中で「禅宗」と「浄土真宗」の二つの宗派がある。この二つの宗派は、「自力」と「他力」という対照的な教えを説いているのが特徴であるが、同時に、「禅と念仏」「禅念一如」という表現もされる、本講義では、この二つの宗教思想について研究します。

【質疑応答】

質問は講義中、講義終了後、オフィスアワーの時間に行います。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%・授業への取組み及び受講態度 20%・レポート 10%。また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：必要な資料は、担当者の方でコピーし配布します。

参考文献：文献等については、講義中に適時紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	佛教について1 (講義)	【予習】 仏教について考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
②	佛教について2 (課題)	【予習】 宗派について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
③	佛教の伝来1 (講義)	【予習】 仏教の教義について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
④	佛教の伝来2 (講義)	【予習】 仏教と神道との関係について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑤	佛教の伝来3 (講義)	【予習】 鎮護国家と加持祈祷について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑥	佛教の伝来4 (講義)	【予習】 仏教が興隆したことについて理由を考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑦	禅の思想1 (課題)	【予習】 禅の修行について考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑧	禅の思想2 (講義)	【予習】 禅の悟りについて考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑨	禅の思想3 (講義)	【予習】 坐禅の目的について考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑩	禅の思想4 (講義)	【予習】 坐禅の悟りについて考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑪	浄土の思想1 (課題)	【予習】 念仏についてその意義を考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑫	浄土の思想2 (課題)	【予習】 厭離穢土・欣求浄土について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑬	浄土の思想3 (講義)	【予習】 妙好人について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑭	浄土の思想4 (講義)	【予習】 阿弥陀如来について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまで扱った内容をよく整理すること(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	宗教思想b			担当教員名	宇佐美之規	
サブタイトル	宗教の定義、仏教とキリスト教					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	火曜日・2	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・宗教とReligionの語義について研究し理解を深め説明することが出来る。
- ・仏教とキリスト教について、その思想について理解を深めることが出来る。
- ・布教についての思想の違いについて学習し理解を深め説明することが出来る。

【授業概要】

さまざま宗教が存在するが、その宗教の定義について研究し、更に、日本に伝来した宗教である仏教とキリスト教の二つに絞り、その伝来した際の影響について研究します。

【質疑応答】

質問は講義中、講義終了後、オフィスアワーの時間に行います。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験70%・授業への取組み及び受講態度20%・レポート10%。また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：必要な資料は、担当者の方でコピーし配布します。

参考文献：文献等については、講義中に適時紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	宗教とは (講義)	【予習】 宗教について考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
②	日本における宗教意識 (講義・課題作成)	【予習】 日本人の宗教の捉え方について考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
③	宗教の定義について1 (講義)	【予習】 宗教の定義について考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
④	宗教の定義について2 (講義)	【予習】 西欧の思想家の考えを調べてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑤	宗教の定義について3 (講義)	【予習】 日本の思想家の考えを調べてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑥	西欧の思想家の宗教の定義について1 (講義)	【予習】 エリアーデの定義について調べてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑦	西欧の思想家の宗教の定義について2 (講義)	【予習】 シュライエルマッハー定義について調べてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑧	日本の思想家の宗教の定義について1 (講義)	【予習】 鈴木大拙の定義について調べてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑨	日本の思想家の宗教の定義について2 (講義)	【予習】 西田幾多郎の定義について調べてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑩	宗教と Religion 1 (講義)	【予習】 日本語の宗教の意味について考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑪	宗教と Religion 2 (講義)	【予習】 Religion の意味について調べてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑫	キリスト教の伝来1 (講義)	【予習】 キリスト教という宗教について考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑬	キリスト教の伝来2 (講義)	【予習】 日本での伝道について調べてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑭	キリスト教の伝来3 (講義)	【予習】 キリスト教が世界に弘まったことについて考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまで扱った内容をよく整理すること (120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	仏教福祉 a			担当教員名	今村敬子	
サブタイトル	現代に生きる仏教社会福祉					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	月曜日・2	2	実習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・現代社会における社会的実態と仏教社会福祉思想の必要性を理解し実践することができる。
- ・現代社会における仏教社会福祉の諸問題について考察することができる。
- ・現代社会において仏教社会福祉精神の核である慈悲のこころを育て、実際の日常生活において実践することができる。

【授業概要】

本講義は、過去に築かれた慈善、救済、感化、援護、援助などの概念の定義から、貧困や困窮を社会問題としてとらえる科学的視点から現実的・具体的な科学的認識によって組織化されるソーシャルワークの可能性が追求されはじめたことの講義と実践編である。

【質疑応答】

授業時間内およびオフィスアワーに受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

毎回の課題に対する小レポート、定期試験 60%、取組み態度（意欲）40%をもって評価を行う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『仏教社会福祉入門』2014 日本仏教社会福祉学会（株）法蔵館

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	仏教社会福祉とは何か(講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業の確認として課題プリントを作成し次時に提出(60)
②	仏教社会福祉のあゆみ(講義)	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業の把握として課題プリントを作成し次時に提出(60)
③	仏教社会福祉の支援と担い手(講義)	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業の把握として課題プリントを作成し次時に提出(60)
④	"	【予習】 テキストを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業の把握として課題プリントを作成し次時に提出(60)
⑤	美濃加茂市学習支援教室(実践) 於:短大内	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑥	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑦	富加町ふれあいステージ	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑧	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑨	富加町ふれあいステージ	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑩	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑪	ブラジル子ども交流 セタ会	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑫	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑬	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑭	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑮	反省会	【予習】 今学期の活動内容の反省レポートを作成する
		【復習】 それぞれの活動計画と実践の反省、意見交換(60)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	仏教福祉 b			担当教員名	今村・羽場	
サブタイトル	仏教の精神力の一つである慈悲はまさに社会福祉活動の源泉である。					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	月曜日・2	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・現代社会における仏教福祉思想をもって実践活動を理解し実践することが出来る。
- ・現代社会における社会的実態と仏教福祉の必要性を説明し実践することが出来る。
- ・現代社会における仏教社会福祉の諸問題について考察することが出来る。
- ・現代社会において仏教福祉精神の核である慈悲のこころを育て、実際の日常生活において実践することができる。

【授業概要】

近年の高齢社会における社会福祉制度・施設等の外枠事業の充実化は改善されてきているが、内枠である『福祉のこころ』の教育は追いついていない。『福祉のこころ』とは、思想概念ではなく、一人ひとりが個々の心のなかにある問題意識のありかたにたどりつくことが必要である。地域福祉事業は自立的に生きようとする者の援助・介護・手助けの役割を担うことから、仏教精神をもって地域活動に参加することが問題解決への第一歩と考える。

【質疑応答】

授業時間内およびオフィスアワーに受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

毎回の課題に対する小レポート、定期試験 60%、取組み態度（意欲）40%をもって評価を行う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『仏教社会福祉入門』2014 日本仏教社会福祉学会 (株) 法蔵館

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	現代に生きる仏教社会福祉 (講義)	【予習】 シラバスを読んで内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	美濃加茂市 学習支援教室 (短大内)	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
③	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
④	美濃加茂市環境フェア (ぎふ清流里山公園)	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑤	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑥	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑦	美濃加茂社協さわやかフェスティバル	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑧	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑨	富加町民まつり (富加町役場周辺)	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑩	"	【予習】 本時の活動目的を把握して活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑪	富加町民まつり	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑫	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑬	ブラジル子ども交流クリスマス会 (短大内)	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑭	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑮	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅宗經典 a			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	禅宗經典の解説					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	月曜日・3	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅宗の經典の内容を理解し説明することができる。
- ・仏教と禅の思想の差異を理解し、その特徴を説明することができる。
- ・禅仏教の思想が、現代人の諸問題解決にどう役立つか考察することができる。

【授業概要】

本授業では、『勤行聖典』を中心に臨済宗門で読誦する經典について学習する。授業では經典の現代語訳を提示し、その内容を説明する力を身につけ、禅仏教の根底にある大乘仏教思想解明の端緒とすることを目的とする。とりあげる經典については、受講者のリクエストや習熟度によって変更あり。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験（50%）、授業で課する課題の取り組み（50%）の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『勤行聖典』

配布資料：プリント配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第二版』岩波書店 7560円

大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編 改訂版』大正大学出版会 1575円

駒澤大学内禅学大辞典編纂所『新版禅学大辞典』大修館書店 27000円

また多くの辞書類から仏教用語を調べる習慣をつけることが望ましい。その他必要な文献については、講義中に適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス 仏教と禅宗の経典とは	【予習】 シラバスを読む(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	大乘仏教の概要 七佛通戒偈・夜叉説半偈(講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
③	懺悔文・開経偈・剃髮偈 三帰戒・四弘誓願(講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
④	般若経と般若心経Ⅰ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑤	般若経と般若心経Ⅱ (講義・ビデオ視聴)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑥	金剛般若波羅蜜経Ⅰ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑦	金剛般若波羅蜜経Ⅱ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑧	金剛般若波羅蜜経Ⅲ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑨	密教と禅宗の陀羅尼Ⅰ 大悲咒(講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑩	密教と禅宗の陀羅尼Ⅱ 仏頂尊勝陀羅尼と消災咒(講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑪	密教と禅宗の陀羅尼Ⅲ 楞嚴咒(講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑫	盂蘭盆経と開甘露門 (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑬	清規と開甘露門 (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑭	法華経と観音経Ⅰ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑮	法華経と観音経Ⅱ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅宗経典b			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	禅宗経典の解説					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	月曜日・3	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅宗の経典の内容を理解し説明することができる。
- ・仏教と禅の思想の差異を理解し、その特徴を説明することができる。
- ・禅仏教の思想が、現代人の諸問題解決にどう役立つか考察することができる。

【授業概要】

本授業では、『勤行聖典』を中心に臨済宗門で読誦する経典について学習する。授業では経典の現代語訳を提示し、その内容を説明する力を身につけ、禅仏教の根底にある大乘仏教思想解明の端緒とすることを目的とする。とりあげる経典については、受講者のリクエストや習熟度によって変更あり。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験（50%）、授業で課する課題の取り組み（50%）の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『勤行聖典』

配布資料：プリント配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第二版』岩波書店 7560円

大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編 改訂版』大正大学出版会 1575円

駒澤大学内禅学大辞典編纂所『新版禅学大辞典』大修館書店 27000円

また多くの辞書類から仏教用語を調べる習慣をつけることが望ましい。その他必要な文献については、講義中に適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス 白隠禅師坐禅和讃Ⅰ (講義・経典購読)	【予習】 シラバスを読む(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	白隠禅師坐禅和讃Ⅱ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
③	坐禅儀と天台小止観Ⅰ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
④	坐禅儀と天台小止観Ⅱ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑤	坐禅儀と天台小止観Ⅲ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑥	菩提和讃と大乘起信論Ⅰ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑦	菩提和讃と大乘起信論Ⅱ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑧	宗門安心章と大乘起信論 (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑨	興禅大燈国師遺誡と大燈国師語録 (講義・ビデオ視聴)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑩	無相大師遺誡と正法山六祖伝 (講義・ビデオ視聴)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑪	三時回向Ⅰ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑫	三時回向Ⅱ (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑬	アビダルマ思想と俱舍論 (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑭	律蔵と大乘菩薩戒思想 (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑮	パーリ仏典と清浄道論 (講義・経典購読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅宗法儀 a			担当教員名	池田 丈明	
サブタイトル	禅宗仏事法会の基本					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	火曜日・1	2	講義	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅宗の基本作法を身につけることができる。
- ・禅宗仏事法会に内在する思想を理解できる。
- ・専門道場の殿司（仏殿のことをつかさどる役職）も視野にいたした基本を修得できる。

【授業概要】

禅宗法儀を考えていくために、禅宗仏事法会を修するうえで基本的かつ必要な作法を解説します。さらに各授業の後半では、実習形式もとりいれ、受講者全員が型を身につけるために実物に触れて学びます。また、受講者は型を修得するために授業後の復習（反復練習）を十分に行うことを課題とします。

【質疑応答】

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験（筆記試験 50%程度）と授業への取り組み（50%）で成績を評価します。なお、授業時数の5分の1以上欠席すると、筆記試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』（臨済宗妙心寺派宗務本所、税込み 1000 円）。

加藤隆芳、水野泰嶺、森弘宗監修『江湖法式梵唄抄』（禅文化研究所、一九九〇年）。

『小叢林略清規』（『大正新脩大藏經』第八十一巻所収）。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	専門道場の日課・月例行事1 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	専門道場の日課・月例行事2 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	専門道場の日課・月例行事3 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	専門道場の年中行事1 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	専門道場の年中行事2 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	専門道場の年中行事3 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	専門道場の基本作法1 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	専門道場の基本作法2 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	専門道場の基本作法3 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	専門道場の基本作法4 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	施餓鬼の呪と鳴らしもの (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	施餓鬼の回向 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	施餓鬼幢幡の社会的意味とその作成 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅宗法儀 b			担当教員名	池田 丈明	
サブタイトル	禅宗仏事法会の基本					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	火曜日・1	2	講義	15	選択

【DP (ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅宗の基本作法を身につけることができる。
- ・禅宗仏事法会に内在する思想を理解できる。
- ・専門道場の殿司（仏殿のことをつかさどる役職）も視野にいたした基本を修得できる。

【授業概要】

禅宗法儀を考えていくために、禅宗仏事法会を修するうえで基本的かつ必要な作法を解説します。さらに各授業の後半では、実習形式もとりいれ、受講者全員が型を身につけるために実物に触れて学びます。また、受講者は型を修得するために授業後の復習（反復練習）を十分に行うことを課題とします。

【質疑応答】

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験（筆記試験 50%程度）と授業への取り組み（50%）で成績を評価します。なお、授業時数の5分の1以上欠席すると、筆記試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』（臨済宗妙心寺派宗務本所、税込み 1000 円）。

加藤隆芳、水野泰嶺、森弘宗監修『江湖法式梵唄抄』（禅文化研究所、一九九〇年）。

『小叢林略清規』（『大正新脩大藏經』第八十一巻所収）。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	回向ならびに疏1 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	回向ならびに疏2 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	回向ならびに疏3 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	回向ならびに疏4 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	回向文の製作 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	鳴らし物の基本1 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	鳴らし物の基本2 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	鳴らし物の基本3 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	鳴らし物の基本4 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	『大般若波羅蜜多經』六百卷 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	『大般若波羅蜜多經』の転読法 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	大般若の回向 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	大般若札の製作 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本事情 a			担当教員名	鈴木重喜	
サブタイトル	日本文化を歴史から学ぶ					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	月曜日・1	2	講義	15	選択必修

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・日本文化についてその意味を理解し、日本の言葉で表現できる。
- ・日本文化についてその意味を理解し、日本語の文章で表現できる。
- ・日本文化についての認識や理解を深めることができる。

【授業概要】

日本人は長い歴史の中で文化を形成し、現在まで伝えてきています。この授業では、日本の文化史を取り上げた書物を講読し、日本語の学習を兼ねます。毎回の授業のはじめに、学習する内容の説明を行った上で書物を読んでいきます。また、日本文化に関する発表もしていただきます。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。あわせて秋学期開講の「日本事情 b」も履修すると、より理解がしやすくなります。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は、定期試験（筆記試験 70%程度）と授業への取り組み（10%程度）、レポート・発表（20%程度）により行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：プリントを配布します。解釈に必要な中日辞典、英和辞典等を持参してください。

参考文献：日本語学習の進度により適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	オリエンテーション (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	武士の台頭 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	武具の変化 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	職人と農民の生活 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	鎌倉新興仏教と旧仏教 (講義・講読) *レポート提出	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	鎌倉時代の寺院建築 (講義・講読) *発表	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	水墨画の流行 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	金閣寺と銀閣寺 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	武家の学問 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	鎌倉時代の文学 (講義・講読) *レポート提出	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	庶民文化としての連歌 (講義・講読) *発表	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	能楽の大成 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	喫茶の風習と茶道の発生 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	各地で始まった陶器の生産 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策としてこれまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本事情 b			担当教員名	鈴木重喜	
サブタイトル	日本文化を歴史から学ぶ					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	月曜日・1	2	講義	15	選択必修

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・日本文化についてその意味を理解し、日本の言葉で表現できる。
- ・日本文化についてその意味を理解し、日本語の文章で表現できる。
- ・日本文化についての認識や理解を深めることができる。

【授業概要】

日本人は長い歴史の中で文化を形成し、現在まで伝えてきています。この授業では、日本の文化史を取り上げた書物を講読し、日本語の学習を兼ねます。毎回の授業のはじめに、学習する内容の説明を行った上で書物を読んでいきます。また、日本文化に関する発表もさせていただきます。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。あわせて春学期開講の「日本事情 a」も履修すると、より理解がしやすくなります。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は、定期試験（筆記試験 70%程度）と授業への取り組み（10%程度）、レポート・発表（20%程度）により行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：プリントを配布します。解釈に必要な中日辞典、英和辞典等を持参してください。

参考文献：日本語学習の進度により適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	オリエンテーション (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	家系図の創作 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	徐々に豊かになった江戸時代の食事 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	防災都市として発展した江戸の街 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	信仰の旅 (講義・講読) *レポート提出	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	浮世絵の流行 (講義・講読) *発表	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	歌舞伎の流行 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	浮世草子と俳諧 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	川柳、狂歌の発生と俳諧、和歌の発展 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	儒学の広まりと分化 (講義・講読) *レポート提出	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	国学の発生 (講義・講読) *発表	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	暦法と和算の発達 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	様々な分野の学問に影響を与えた洋学 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	藩校と寺子屋 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策としてこれまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	茶道 a			担当教員名	辻 栄 治	
サブタイトル	茶道から学ぶ日本の伝統文化とおもてなしの心					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	金曜日・1	1	実習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・点前ができる。
- ・お客様としての心構えを修得できる。
- ・茶道の心を理解できる。
- ・日本の伝統文化を知ることができる。

【授業概要】

日本の伝統文化である茶道を、割稽古（帛紗捌き、棗の清め方、茶巾のたたみ方等点前に先立って行う稽古）盆略点前、薄茶点前、お客様としての基本的な心構えを修得します。また、点前だけでなく掛け軸などの書、焼き物など総合芸術である茶道を理解できるようにします。稽古を通じて茶道のすがた「思いやりの心」を養い、礼儀正しさと豊かな心を身に着けます。

季節にあった点前を修得し、茶道の素晴らしさを実感できるようします。

【質疑応答】

理解できない内容については、授業中に遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

筆記試験 30%、授業態度 20%、レポート 30%、実技 20%で評価します。
着物着用（男子袴着用）、男女白足袋着用、帛紗、茶道用扇子持参

【テキスト及び参考文献】

学校茶道裏千家より発行「学校茶道初級編税込 740 円」

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	茶道を学ぶにあたっての基本的な知識	【予習】 シラバスを読み授業内容把握(20)
		【復習】 テキストにて内容確認(20)
②	割稽古 実習	【予習】 テキストにて内容把握(20)
		【復習】 テキストにて内容確認(20)
③	割稽古 実習	【予習】 テキストにて内容把握(20)
		【復習】 テキストにて内容確認(20)
④	盆略点前 実習	【予習】 帛紗捌きができるように(20)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(30)
⑤	盆略点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑥	盆略点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑦	(風炉) 薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑧	”	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑨	”	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑩	棚にて(風炉) 薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑪	”	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑫	葉蓋薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑬	”	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑭	洗い茶巾にて薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑮	”	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	茶道b			担当教員名	辻 栄 治	
サブタイトル	茶道から学ぶ日本の伝統文化とおもてなしの心					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	金曜日・1	1	実習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・点前ができる。
- ・お客様としての心構えを修得できる。
- ・茶道の心を理解できる。
- ・日本の伝統文化を知ることができる。

【授業概要】

明治以降洋風文化が入り、腰掛けてお茶を点てる点前ができました。その立礼の点前を稽古します。5月から稽古してきた風炉の点前が11月からは炉の点前と変わります。その炉の点前を稽古します。季節を大切にする茶道の思いやりの心を実践の中で学びます。茶道で大事な点は点前だけでなく、掛け軸を掛ける時の扱いや、巻いてしまう時の扱い方、茶碗の紐の結び方など道具の扱いも習得します。

【質疑応答】

理解できない内容については、授業中に遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

筆記試験 30%、授業態度 20%、レポート 30%、実技 20%で評価します。
着物着用（男子袴着用）、男女白足袋着用、帛紗、茶道用扇子持参

【テキスト及び参考文献】

学校茶道裏千家より発行「学校茶道初級編税込 740 円」

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	茶道を学ぶにあたって基礎的な知識	【予習】 シラバスを読み授業内容把握(20)
		【復習】 テキストにて内容確認(20)
②	割稽古 実習	【予習】 テキストにて内容把握(20)
		【復習】 テキストにて内容確認(20)
③	割稽古 実習	【予習】 テキストにて内容把握(20)
		【復習】 テキストにて内容確認(20)
④	盆略点前 実習	【予習】 帛紗捌きができるように(20)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(30)
⑤	盆略点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑥	盆略点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑦	立礼にて薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑧	立礼にて薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑨	立礼にて薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑩	炉薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑪	炉薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑫	炉棚にて薄茶点前 (絞り茶巾) 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑬	炉棚にて薄茶点前 (絞り茶巾) 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑭	炉流し点 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑮	炉流し点 実習	【予習】 前回のイメージ練習 1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	華道 a			担当教員名	辻 栄 治	
サブタイトル	花を知り、美しくいける					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	金曜日・2	1	実習	15	選択

【D P (ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・生け花を理解し、説明する事ができる。
- ・花を美しく生ける技術を習得し、自分で生けることができる。

【授業概要】

人は皆、花の色の美しさを愛で、その香しい匂いに酔う。古今東西についても同じである。その中で日本では特に花を立てることを中心にして、華道が成立した。自然にあるがままに咲く花を切り、その花の習性特徴を生かし、花を生けるといふ伝統文化を習得します。床の間、玄関、下駄箱の上など生ける場所、また生ける器によって違う。生花（格式花）。盛花、自由化、投入を習得します。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、実習中になんなりとお尋ねください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

筆記試験 30%、授業態度 20%、レポート 30%、実技 20%で評価します。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：プリントを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	生け花の歴史	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認まとめ(30)
②	生花の考え方 生花の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(30)
③	生花の分体について 生花の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(30)
④	五行の花の考え方 生花の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(30)
⑤	盛花基本花型 盛花の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(30)
⑥	自然調盛花(造形調盛花) 盛花の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(30)
⑦	”	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 実習での内容確認(10)
⑧	盛花応用花型 盛花実習	【予習】 前回実習の内容把握(10)
		【復習】 実習での内容確認(10)
⑨	鶴翼花材を生ける 生花の実習	【予習】 前回実習の内容把握(10)
		【復習】 実習での内容確認(10)
⑩	生花年中行事の花について 生花の実習	【予習】 前回実習の内容把握(10)
		【復習】 授業プリントの確認(20)
⑪	盛花自由花型 盛花の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(20)
⑫	投入花基本花型 投入の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(20)
⑬	投入花を生ける 投入の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 実習での内容確認(20)
⑭	投入花を生ける 投入の実習	【予習】 前回実習の内容把握(10)
		【復習】 実習での内容確認(20)
⑮	生け花まとめ	【予習】 前回実習の内容把握(10)
		【復習】 実習での内容確認(20)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	華道b			担当教員名	辻 栄 治	
サブタイトル	花を知り、美しくいける					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	金曜日・2	1	実習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・生け花を理解し、説明する事ができる。
- ・花を美しく生ける技術を習得し、自分で生けることができる。

【授業概要】

人は皆、花の色の美しさを愛で、その香しい匂いに酔う。古今東西についても同じである。その中で日本では特に花を立てることを中心にして、華道が成立した。自然にあるがままに咲く花を切り、その花の習性特徴を生かし、花を生けるといふ伝統文化を習得します。床の間、玄関、下駄箱の上など生ける場所、また生ける器によって違う。生花（格式花）。盛花、自由化、投入を習得します。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、実習中になんなりとお尋ねください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

筆記試験 30%、授業態度 20%、レポート 30%、実技 20%で評価します。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：プリントを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	生け花の歴史	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認まとめ(30)
②	生花の考え方 生花の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(30)
③	生花の分体について 生花の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(30)
④	五行の花の考え方 生花の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(30)
⑤	盛花基本花型 盛花の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(30)
⑥	自然調盛花(造形調盛花) 盛花の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(30)
⑦	”	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 実習での内容確認(10)
⑧	盛花応用花型 盛花実習	【予習】 前回実習の内容把握(10)
		【復習】 実習での内容確認(10)
⑨	鶴翼花材を生ける 生花の実習	【予習】 前回実習の内容把握(10)
		【復習】 実習での内容確認(10)
⑩	生花年中行事の花について 生花の実習	【予習】 前回実習の内容把握(10)
		【復習】 授業プリントの確認(20)
⑪	盛花自由花型 盛花の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(20)
⑫	投入花基本花型 投入の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 授業プリントの確認(20)
⑬	投入花を生ける 投入の実習	【予習】 前回プリントの内容把握(20)
		【復習】 実習での内容確認(20)
⑭	投入花を生ける 投入の実習	【予習】 前回実習の内容把握(10)
		【復習】 実習での内容確認(20)
⑮	生け花まとめ	【予習】 前回実習の内容把握(10)
		【復習】 実習での内容確認(20)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	筆禅道 a			担当教員名	加藤舞心	
サブタイトル	筆をもって禅を行じる					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	木曜日(隔週) ・3, 4	1	実習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・文房四宝（筆・墨・硯・紙）の取り扱い方の修得。
- ・呼吸・姿勢・執筆法の修得。
- ・手習い（技術）と目習い（鑑賞眼）の向上。

【授業概要】

書は文字を素材とした造形藝術であり、漢字文化圏において発達した。日本においては平安時代の仮名の美に象徴される。書を漢字の変遷をたどりながら、古典と呼ばれる中国・日本の名跡を臨書してその美しさに迫ります。

【質疑応答】

理解できない内容はその都度、質問してもらっても結構です。
時間が必要な時は授業後をお願いします。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は授業中の習作作品、レポート及び試験等により総合的にみます。
授業時数の5分の1以上欠席すると、試験資格がなくなります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：必要資料は担当者の方で準備します。紙代・教材費として2000円徴収します。
参考文献：「書は人なり 墨跡の観方、学び方」 寺山 旦中 著 淡交社 1600円＋税
「墨跡の鑑賞基礎知識」 寺山 旦中／角井 博 著 至文堂 3600円＋税
「筆禅道 書と禅と養気法」 寺山 旦中 著 春秋社 2800円＋税

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	書について 筆禅道とは	【予習】 書道とは(20)
		【復習】 呼吸(20)
②	用具用材 文房四宝	【予習】 文房四宝とは(20)
		【復習】 道具の点検(20)
③	篆書之美 甲骨文・金文	【予習】 篆書とは(20)
		【復習】 点と線(20)
④	泰山刻石・鄧石如	【予習】 ハンコ(20)
		【復習】 左右相称 〈硬筆〉(40)
⑤	隸書之美 木簡・竹簡	【予習】 隸書とは(20)
		【復習】 扁平(20)
⑥	乙瑛碑・鄧石如	【予習】 新聞社名(20)
		【復習】 波磔 〈硬筆〉(40)
⑦	楷書之美 永字八法・楷書と片仮名	【予習】 楷書とは(20)
		【復習】 写経(100)
⑧	九成宮醴泉銘	【予習】 楷書の極則(20)
		【復習】 唐の四大家 〈硬筆〉(40)
⑨	行書之美 楷書との比較	【予習】 行書とは(20)
		【復習】 二王(20)
⑩	蘭亭序	【予習】 書聖(20)
		【復習】 唐の四大家 〈硬筆〉(40)
⑪	草書之美 草書と平仮名	【予習】 草書とは(20)
		【復習】 草書と平仮名(20)
⑫	千字文	【予習】 千字文とは(20)
		【復習】 楷書と草書 〈硬筆〉(40)
⑬	仮名之美 いろは	【予習】 仮名とは(20)
		【復習】 平仮名单体 〈硬筆〉(40)
⑭	蓬萊切	【予習】 いろは歌(20)
		【復習】 変体仮名 〈硬筆〉(40)
⑮	篆刻 金印	【予習および復習】 落款印奏刀(120)
⑯	筆記試験 レポート発表	

【メモ】

科目名	筆禅道 b			担当教員名	加藤舞心	
サブタイトル	筆をもって禅を行じる					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	木曜日(隔週) ・3, 4	1	実習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・文房四宝（筆・墨・硯・紙）の取り扱い方の修得。
- ・呼吸・姿勢・執筆法の修得。
- ・手習い（技術）と目習い（鑑賞眼）の向上。

【授業概要】

書は用美一体の藝術であり、日常生活を離れません。筆をもつ機会は減りましたが、筆跡（墨跡）を鑑賞しながら、書は人なりを学んでいきます。作品を創作することにより、その楽しさ難しさを体験していきます。

【質疑応答】

理解できない内容はその都度、質問してもらっても結構です。
時間が必要な時は授業後をお願いします。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は授業中の習作作品、レポート及び試験等により総合的にみます。
授業時数の5分の1以上欠席すると、試験資格がなくなります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：必要資料は担当者の方で準備します。紙代・教材費として2000円徴収します。
参考文献：「書は人なり 墨跡の観方、学び方」 寺山 旦中 著 淡交社 1600円＋税
「墨跡の鑑賞基礎知識」 寺山 旦中／角井 博 著 至文堂 3600円＋税
「筆禅道 書と禅と養気法」 寺山 旦中 著 春秋社 2800円＋税

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	書と書論	【予習】 會津八一について(20)
		【復習】 「学規」(40)
②	漢字仮名交じり書 (漢字・片仮名・平仮名)	【予習】 高村光太郎について(20)
		【復習】 「雨ニモマケズ」(40)
③	最澄の書	【予習】 久隔帖とは(20)
		【復習】 〈硬筆〉(40)
④	三筆の書	【予習】 三筆とは(20)
		【復習】 〈硬筆〉(40)
⑤	空海の書	【予習】 風信帖とは(20)
		【復習】 〈硬筆〉(40)
⑥	三跡の書	【予習】 三跡とは(20)
		【復習】 〈硬筆〉(40)
⑦	大燈国師の書	【予習】 大燈について(20)
		【復習】 〈硬筆〉(40)
⑧	一休宗純の書	【予習】 一休について(20)
		【復習】 〈硬筆〉(40)
⑨	白隠慧鶴の書	【予習】 白隠について(20)
		【復習】 〈硬筆〉(40)
⑩	大愚良寛の書	【予習】 良寛について(20)
		【復習】 〈硬筆〉(40)
⑪	作品制作	【予習】 選文 (墨場必携) (30)
		【復習】 (30)
⑫	作品制作	【予習】 検字 (五体字類) (30)
		【復習】 (30)
⑬	作品制作	【予習】 草稿 (30)
		【復習】 〈硬筆〉(40)
⑭	作品制作	【予習】 草稿 (30)
		【復習】 (30)
⑮	筆禅道	【予習および復習】 書初め(50)
⑯	筆記試験	レポート発表

【メモ】

科目名	陶芸 a			担当教員名	松原 一 哲	
サブタイトル	うつわの芯					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	金曜日(隔週) ・3, 4	1	実習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・ひたすら陶芸のもつ芸術的なおもしろさに触れることにより、探究することが出来る。
- ・一作一作独自の輝きをもつ、うつわ制作をすることで技を習得が出来る。
- ・プロセスを想像しながら鑑賞でき、焼き物への親しみ、共感がいっそう増す事が出来る。

【授業概要】

器にふれ、口をつけ、見つめる。器は人間のあらゆる感覚の近くで生々と響く言葉を持っています。そして折々に器に語りかける。その言葉をいかに受け止め得るか、そこから個人各様の器に対するこだわりが生まれてくるのでしょうか。ここでは、器への深いまなざしをお持ちの学生諸君にお話しを伺い作陶に励もうと思います。

【質疑応答】

疑問等の質問は、授業中・授業後に受付けますので、遠慮なく聞いて下さい。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

授業への取り組み 50% 定期試験 25% 作品提出 25%により行う。なお、授業数 5分の1以上欠席すると、試験の受験資格がなくなります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：必要な資料は配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	制作工程の説明 (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
③	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
④	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑤	轆轤をひく 飯茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑥	轆轤をひく 飯茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑦	轆轤をひく 飯茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑧	轆轤をひく 700度で素焼き (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑨	轆轤をひく 絵付け 施釉 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑩	轆轤をひく 1230度で電気炉焼成 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑪	轆轤をひく 抹茶茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑫	轆轤をひく 抹茶茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑬	轆轤をひく 抹茶茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑭	轆轤をひく 抹茶茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑮	授業のまとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認する(60)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	陶芸b			担当教員名	松原一哲	
サブタイトル	うつわの芯					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	金曜日(隔週) ・3,4	1	実習	15	選択

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・ひたすら陶芸のもつ芸術的なおもしろさに触れることにより、探究することが出来る。
- ・一作一作独自の輝きをもつ、うつわ制作をすることで技を習得が出来る。
- ・プロセスを想像しながら鑑賞でき、焼き物への親しみ、共感がいっそう増す事が出来る。

【授業概要】

器にふれ、口をつけ、見つめる。器は人間のあらゆる感覚の近くで生々と響く言葉を持っています。そして折々に器に語りかける。その言葉をいかに受け止め得るか、そこから個人各様の器に対するこだわりが生まれてくるのでしょうか。ここでは、器への深いまなざしをお持ちの学生諸君にお話しを伺い作陶に励もうと思います。

【質疑応答】

疑問等の質問は、授業中・授業後に受付けますので、遠慮なく聞いて下さい。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

授業への取り組み 50% 定期試験 25% 作品提出 25%により行う。なお、授業数 5分の1以上欠席すると、試験の受験資格がなくなります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：必要な資料は配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	大学祭に出品する作品制作 花器・大鉢等 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
②	大学祭に出品する作品制作 花器・大鉢等 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
③	大学祭に出品する作品制作 花器・大鉢等 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
④	大学祭に出品する作品制作 花器・大鉢等 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑤	大学祭に出品する作品制作 花器・大鉢等 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑥	大学祭に出品する作品制作 花器・大鉢等 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑦	大学祭に出品する作品制作 花器・大鉢等 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑧	大学祭に出品する作品制作 花器・大鉢等 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑨	薪窯 窯詰め 薪割り (実習)	【予習】 薪割り(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	窯焼き 1230度 (実習)	【予習】 薪割り(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	作品制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑫	作品制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑬	素焼き 700度 作品制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑭	電気窯焼成 作品制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑮	作品提出 鑑賞 (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認する(60)
⑯	筆記試験	

【メモ】

【 メ モ 】

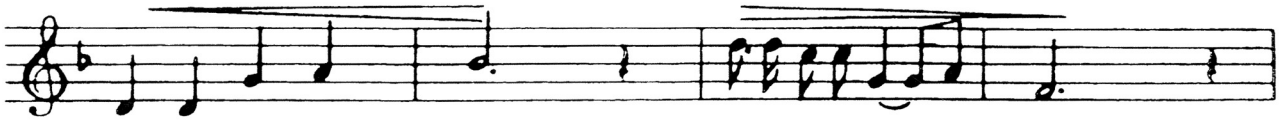
正眼短期大 学校歌

作詞 谷 耕 月

作曲 小森 真太郎



う し ま き の き よ き な が れ に
わ き ま い ず る の り の い ず み に
も と ふ か く の な が れ は と は に
こ ん だ く の よ の ま よ い に



か ぜ は よ ぶ か ん ざ ん の ー み ね
あ た は し き る は る の あ け ー ぼ の り
あ お お ぎ し む そ う の ひ ー か り
と も し ゆ く は っ し ょ う の ー み ち



く さ ふ か き こ さ つ の ほ と ー り
う ち な から す の さ は ひ び き ー て
し ょ う ほ う ら の ま な こ ひ ら き ー て
あ あ わ れ ら ぼ こ う が ほ こ ー り



よ に ー た か ー き こ と く い ま ー ー せ り
め ざ ー め た ら ー り り く い た ま ー ー し いら
た ぞ ー ひ ら ー く ぼ う お ん の ー ー く いら
い ざ ー た ち ー て ぶ っ ど き よ ー ー め ん

一、牛牧の清き流れに

風は呼ぶ関山の嶺

草深き古刹のほとり

世に高き古徳在ませり

二、湧き出づる法の泉に

新しき春のあけぼの

打ち鳴らす鐘は響きて

目ざめたり若き魂

三、源深く流れは永遠に

仰ぎ見る無相の光

正法の眼開きて

誰ぞ開く報恩の蔵

四、混濁の世の迷路に

灯し行く八正の道

あゝ我等母校が誇り

いざ起ちて仏土浄めん

正眼短期大学 教職員名簿

理事長兼学長兼教授 図書館長

山川 宗玄 (提唱・禅語録Ⅰ／Ⅱ 禅学の基礎、禅と人間、仏教学の基礎)

副学長兼学長補佐兼総務部長兼教授

今村 敬子 (信仰と生活、仏教福祉、日本語Ⅰ、卒業実践研究)

教務部長兼ALO兼教授

鈴木 重喜 (日本の歴史と文化、日本文化、日本事情、卒業実践研究)

広報部長兼講師

宇佐美 之規 (倫理と人間、人生と哲学、宗教思想、日本語Ⅱ、卒業実践研究)

学生部長兼講師

池田 丈明 (仏教史概論、禅宗史概論、禅の作法と心得(講義)、禅宗法儀、禅学、卒業実践研究)

教務課長兼講師

水野和彦 (僧侶必携、禅宗経典、仏教学、作務Ⅰ／Ⅱ(講義)、卒業実践研究)

学生課長兼舎監兼講師

フォーマルス アタレ (禅の作法と心得(実践)、坐禅Ⅰ／Ⅱ(実践)、作務Ⅰ、Ⅱ(実践))

非常勤講師(特任教授)横山 紘一 (仏教学の基礎)

非常勤講師 横山三千穂 (漢文の基礎)

非常勤講師 松原 一哲 (陶芸)

非常勤講師 加藤 舞心 (筆禅道)

非常勤講師 辻 栄治 (茶道、華道)

非常勤講師 野崎 康弘 (和の養生学)

非常勤講師 青井 有信 (坐禅Ⅰ／Ⅱ)

非常勤講師 松久 宗心 (布教学)

法人本部事務局長兼司書補佐兼IR担当

藤井 信也

短大事務長

包子万由美

図書館司書兼法人本部事務主任兼広報担当

森 央

教学事務主任兼内部監査室主任

村山 順子

庶務部長兼内部監査室長

羽場 寛 (仏教福祉実践)

庶務課長兼食堂調理担当

中島夷人子

庶務主任兼食堂調理担当

藤井 玲子